

北海道議会時報

平成4年第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第44巻第4号(平成4年第4回定例会)

(表紙写真)

旧小樽新聞社（北海道開拓の村・札幌市白石区厚別町小野幌50）

小樽新聞社は明治27年（1894）に創立された。小樽新聞は、函館毎日新聞、北海タイムスとともに道内の代表的新聞の一つであった。

この建物は、木造の骨組に札幌近郊で産出する札幌軟石（溶結凝灰岩）を外壁に積みあげた構造で、明治期石造建築の特徴を示している。

- 旧所在地 小樽市堺町7番30号（小樽区港町29番地）
- 建築年代 明治42年（1909）
- 面 積 113.18坪（374.16m²）
- 構 造 木骨石造 3階建
- 寄 贈 者 株式会社 丸亀小倉商店
- 収集年→復元年 昭和50年（1975）→55年（1980）

..... もくじ

第4回定例会

概要	1
本会議	3
提出案件	12
決議案	14
意見案	15
請願・陳情	19

委員会の動き

議会運営委員会	22
常任委員会	25
特別委員会	30
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
予算特別委員会	32

会合

10都道府県議会議長会	37
-------------	----

資料

平成4年提出案件の議決状況	38
平成4年請願、陳情の審査状況	38
平成4年議員提出案件の件名及び 議決結果一覧	39
平成4年請願、陳情の件名及び審 査経過一覧	40

11・12月のメモ

議会日誌

▶11月

- 2日（月） 文教委員会
10日（火） 各常任委員会
11日（水） 総合開発調査特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会
24日（火） 議会運営委員会
30日（月） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別各委員会

- 本会議**（会期延長<1日間>）
12日（土） 議会運営委員会
予算特別委員会
本会議（会期延長<2日間>）
14日（月） 議会運営委員会
予算特別委員会（総括質疑、意見調整、議案等議決）
各常任、北方領土対策特別、交通安全対策特別、決算特別各委員会
本会議（各委員長報告、補正予算等可決、追加提案説明、収用委員会委員及び予備委員並びに公害審査会委員選任同意、決議案3件可決及び1件否決、意見案5件可決）
（第4回定例会閉会）

▶12月

- 1日（火） **（第4回定例会開会）**
議会運営委員会
本会議（会期決定<10日間>、提案説明、請願審査）
3日（木） 議会運営委員会
本会議（代表質問<2人>、意見案1件可決）
4日（金） 議会運営委員会
本会議（代表質問）
7日（月） 議会運営委員会
本会議（代表質問<2人>、追加提案説明、一般質問<3人>）
8日（火） 議会運営委員会
本会議（一般質問<5人>、予算・決算特別委員会設置）
予算特別委員会（正副委員長の互選、予算第1・第2各分科会設置）
予算第1・第2各分科会（正副委員長の互選）
決算特別委員会（正副委員長の互選）
9日（水） 予算第1・第2各分科会（各部所管審査）
10日（木） 議会運営委員会
予算特別委員会（総括質疑）
本会議（会期延長<1日間>）
11日（金） 議会運営委員会
予算特別委員会（総括質疑）

第4回定例会

景気対策・給与改定案件等可決

▶ 竹下登衆議院議員の辞職を求める決議案可決 ◀

概要

- ① 平成4年度各会計補正予算等を審議する第4回定例会は、12月1日招集され、会期を12月10までの10日間と決定した後、平成4年度各会計補正予算などの議案等13件が上程され、知事から提案説明。
- 次に、千歳川放水路計画の抜本的見直しを求める請願について、討論、採決の結果、不採択と決定し、議案調査のため12月2日は休会した。
- ② 12月3日から代表質問に入り、7日に終結。同日、道職員の給与改定等に係わる補正予算などの議案が追加提案され、知事から提案説明があり、引き続き一般質問に入り、12月8日、一般質問を終結。直ちに予算特別委員会及び決算特別委員会を設置、議案等を各委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、12月9日は休会した。
- ③ 予算特別委員会は、12月8日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、翌9日から各部所管の審査に入り、同日に審査を終了。10日に総括質疑に入ったが、道北地域振興計画策定に係る説明会欠席問題等について再三審議が中断。会期再々延長後の14日に、附帯意見を付することで調整が図られ、審議を再開し、総括質疑を継続、意見調整を行って、付託案件の審査を終了した。
- ④ 本会議再開日の12月10日は、予算特別委員会の審議等が終了しないことから、会期を11日まで延長したが、話合いがまとまらず、11日深夜に至り、会期を12日まで再延長し、休日会議と開議時刻の繰上げを行った。しかし、同目中に譲了することが困難なことから、会期を14日まで2日間、再々延長した。
- ⑤ 会期最終日の12月14日は、付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。

次に、収用委員会委員及び収用委員会予備委員並びに公害審査会委員の選任同意案件が追加提案され、知事から説明の後、同意議決。

次に、選挙管理委員（4人）及び同補充員（4人）の選挙に入り、指名推せんの方法により選挙。

次に、社会党・道民連合、公明党、民政クラブ及び共産党4会派提出の「竹下登衆議院議員の辞職を求める決議案」と自民党及び道政クラブ2会派提出の「竹下登衆議院議員の出処進退と政治の信頼回復を求める決議案」を上程し、それぞれ提案説明、討論、採決の結果、4会派共同提案の決議案を可決、2会派共同提案の決議案を否決した。

次に、「参議院議員定数是正案に反対する決議案」及び「私学助成・学級編制など行き届いた教育を求める決議案」について、原案可決。

次に、「農畜産物の完全自由化につながる『包括的関税化』拒否に関する意見案」ほか4件の

意見案について、いずれも原案可決。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、開会以来14日目の12月14日夜閉会した。

⑥ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

提 出 者	提出件数	議 決 の 状 況						計
		原案可決	同意議決	継続審査	報告のみ	否 決		
知 事	34	27	2	1	4	—	—	34
議 員	10	9	—	—	—	—	1	10
計	44	36	2	1	4	1	1	44

本会議

○12月1日（火） 午前10時15分開議、若狭 靖議長、平成4年第4回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から12月10日までの10日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第13号及び報告第1号を議題とし、知事から提出案件について説明。

日程第4 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、請願第56号の請願審査報告書（不採択）に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、請願審査報告書のとおり不採択と決定（共産反対）。議案調査のため、12月2日休会することに決定して、午前10時29分散会。

○12月3日（木） 午前10時39分開議、諸般の報告の後、

日程第1 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、討論に入り、大橋晃議員（共産）から反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、原案のとおり可決。

日程第2 議案第1号ないし第13号及び報告第1号を議題とし、**代表質問**に入り、

西本 美嗣議員（社会）
から、

1 平成維新の会との関わりについて
・知事のこの会の理念に対する考え方
・この会のビジョンに対する評価及び对外活動支援分野

2 北方領土及びロシア関係について

- ・北方四島への支援策を外務省と詰めることに対する見解
- ・ロシアとの交流のための中小企業支援策
- ・ロシア極東地域の市場経済化支援策



- 3 平成5年度予算編成について
 - ・予算編成に当たっての基本姿勢
 - ・本道の景気動向に対する認識
 - ・今年度及び来年度の税収の見通し
 - ・道債残高等に関する現状認識及び平成5年度の発行に係る考え方
- 4 科学技術の振興について
 - ・科学及び産業技術振興の推進体制の検討状況及び今後の見通し
 - ・科学及び産業技術振興に係る機能に対する見解
- 5 保健福祉対策の充実について
 - ・訪問看護ステーション事業の見通し及びスケジュール
 - ・精神障害者の社会復帰のための施策
- 6 日本海地域振興対策について
 - ・地域振興策策定に対する見解
 - ・漁業及び農業の振興への取組み
 - ・栽培漁業センター整備上の配慮
 - ・支援策強化に対する見解
- 7 農業問題について
 - ・本道米作の方向性及び今回の転作面積の配分方針
 - ・復田に関し、地域実態の把握状況及び完全達成のための対策
 - ・花き野菜技術センターの機能及び整備スケジュール
- 8 高校生のスポーツのあり方について
 - ・全国高体連が朝鮮高級学校の加盟及び大会参加を認めていない現状に対する認識
 - ・全国高体連に朝鮮高級学校も参加できるよう働き掛けることに対する見解
 - ・朝鮮高級学校の学生の精神的苦痛に対する見解
- 9 公安行政について
 - ・本道における警察行政の執行に当たっての決意
 - ・交番機能の整備計画内容及び強化に対する見解
 - ・外国人の在留実態の把握及び犯罪防止に向けての体制整備等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があつて、午前11時50分休憩、午後2時36分再開。



高橋 一史議員（自民）

から、

1 地方拠点都市地域の指定について

- ・今回帯広地域を指定することとした基本的考え方

- ・千歳・苫小牧地区が指定から漏れたことによる新産業文化業務拠点地域構想への影響
- ・道央一極集中回避と千歳・苫小牧地区指定除外との関係
- ・指定が各府県 1 ないし 2 地域を限度とされていることに対する考え方及び生活圏域毎の指定の見通し

2 太平洋小型さけます漁船の違反操業問題について

- ・今回の事態に対する認識
- ・水産行政の信頼回復へ向けての取組み
- ・今後の操業に対する考え方及び取組み

3 道の組織機構のあり方について

- ・現在の機構に対する批判の受止め及び課・室が増加したことに対する認識
- ・大組織の編成に対する考え方
- ・商工労働観光部及び農政部の規模に対する見解並びに適正規模の概念
- ・現行の保健環境部の組織のあり方に対する所見
- ・組織の見直しに対する見解

4 北海道新長期総合計画の進捗状況について

- ・道議会総合開発調査特別委員会に配付された計画前半の進捗状況に関する資料の作成方針及び方法
- ・計画達成へ向けての取組み
- ・戦略プロジェクト中の計画実現性に対する判断
- ・修正資料を平成 5 年度道予算案決定前に提示することに対する所見

5 北海道サハリン経済交流連絡事務所の設置について

- ・諸外国との経済交流における推進方針及び体制
- ・北海道サハリン経済交流連絡事務所の構想内容及び策定に至るまでの調査検討経緯
- ・貿易額、取引方法、事務所設置及び運営に要

する費用等の内容

- ・サハリン州に道の出先機関を設置することに対する外務省の見解
- ・既存法人の活用に対する見解

6 みどりの環境づくり計画について

- ・国、市町村及び民間に依存している緑化事業のコンセンサス取得方法
- ・国及び市町村の緑化事業計画と関連するものの変更の可能性
- ・各事業の国及び市町村との役割分担、目標及び財政負担の方針
- ・これまでの施策の充実強化に対する方針
- ・みどりの環境づくりのための維持管理方法に対する認識及びその所要資金の確保
- ・地域にあった緑化樹の需給計画及びその生産方法
- ・多数の植栽の計画及び方法
- ・推進連絡会議の設置時期及び活動内容
- ・道のみどりの環境基金と国の緑と水の森林基金との違い

7 高齢者福祉対策の推進について

- ・老人ホーム入所決定事務等の市町村への移管のための取組み
- ・町村の事務執行体制の実態の把握状況、指導及び対処方法
- ・市町村における高齢者福祉対策の格差是正に向けての取組み

8 教育問題について

- ・教職員のまとめどり方式による週休 2 日制実施のための条例等の改正案提案に向けての動き
- ・今年の冬休み中にまとめどり方式を実施することに対する見解
- ・土曜計画年休行使闘争の実態及び是正に向けての指導

9 公安問題について

- ・今冬の交通事故防止に対する基本姿勢
- ・特殊な気象条件を有する地域の対策
- ・交通事故取締りに対する見解の真意
- ・本道の重要犯罪の検挙率の水準
- ・捜査本部を設置した事件で未解決の事件に臨む姿勢
- ・暴力団対策法施行による成果
- ・拳銃密輸事件への対処

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後4時24分休憩、午後4時25分再開し直ちに延会。

○12月4日（金） 午後4時41分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時42分休憩、午後5時59分再開。諸般の報告の後、12月3日の高橋一史議員（自民）の再質問に対し、知事及び教育長から答弁。同議員から発言があって、午後6時18分延会。

○12月7日（月） 午前10時49分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第13号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続。



水野 重男議員（民政）
から、

- 1 人事行政について
 - ・行政委員会等の委員の選任状況
 - ・今後の選任方針
- 2 道職員等の住宅問題について

- ・公宅の整備戸数
- ・公宅の現状及び今後の整備方針
- ・公宅問題等の調査・研究に対する見解
- ・地方公務員法第8条の趣旨

3 農業問題について

- ・ガット・ウルグアイラウンド交渉の動向に対する認識及び対処方
- ・新農政プラン確立のための手段との関連
- ・生産コスト低減に対する認識及び対処方
- ・農地政策の方策及び手段
- ・農業振興に向けての対処
- ・水田営農活性化対策に対する認識
- ・転作緩和の配分に当たっての方針

4 人づくりと職業教育について

- ・本道産業進展の観点からの人づくりに対する認識及び姿勢
- ・地域の特性を生かした職業教育の推進に対する見解
- ・産教審答申と間口問題との整合性
- ・職業高校の今後の在り方及び対処策

等について質問があり、知事、人事委員長、教育長及び

警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午前11時44分休憩、午後1時7分再開。



伊藤 武一議員（公明）

から、

1 明年度の道予算編成について

- ・予算編成に当たっての取組み
- ・道民生活関連予算に配慮することに対する所見

2 推進計画について

- ・一次産業及び工業の立遅れに対する打開策及び今後の取組み
- ・戦略プロジェクトの明年度に向けての取組み及び見通し
- ・推進計画中の新産業拠点の形成に向けての取組み

3 日本海振興対策について

- ・日本海地域振興対策の成果及び明年度に向けての取組み
- ・漁業振興策の取組み
- ・日本海地域栽培漁業センターの整備及び栽培漁業基金の設置の見通し

4 地方拠点都市整備法に基づく地域指定について

- ・今回の地域選定に対する考え方
- ・他地域からの指定要請に対する対応及び今後の地域指定に向けた取組み

5 農業問題について

- ・担い手確保対策に対する所見

6 高速交通ネットワークの形成について

- ・道路環境整備構想の策定に向けての取組み
- ・鉄道在来線の活性化に向けての検討内容及び今後の取組み

7 医療福祉問題について

- ・老人保健福祉計画での在宅福祉施策充実に向けての取組み
- ・高齢者地域ケアモデル推進事業の全道展開に対する所見
- ・各支庁の社会福祉担当セクションの体制強化に対する考え方
- ・今後の総合的な障害者対策に対する考え方
- ・障害者雇用の現状に対する認識
- ・障害者雇用の促進に向けての取組み

- ・精神薄弱者能力開発センターの具体化へ向けての取組み
 - ・養護学校高等部卒業生の実態に対する認識及び対処
 - ・教育機関、職業安定機関等との連携
- 8 環境問題について
- ・道内におけるリゾート開発の進捗状況に対する認識
 - ・ゴルフ場開発に対する指導内容
 - ・道環境影響評価条例の見直しに対する所見
 - ・道内河川及び湖沼等の環境汚染の実態に対する認識及び汚染防止対策
 - ・春採湖の水質保全対策に対する支援措置
- 9 教育問題について
- ・公立高校入学者選抜制度の検討状況
 - ・本道公立中学校での業者テスト利用実態
 - ・偏差値指導の段階的な廃止に向けての取組み
- 10 交通問題について
- ・交通事故ワーストワン返上へのための対策
 - ・対向車接近システム等の整備状況及び今後の取組み

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、代表質問を終結。

日程第1の議事を中止し、

追加日程 議案第14号ないし第27号を議題とし、知事から提案説明。

日程第1とあわせ

追加日程を一括議題とし、一般質問に入り、

高橋 定敏議員（自民）から、

- 1 農業問題について
 - ・道立農業試験場の研究開発の方向及び重点研究課題
 - ・農業試験場の現在の研究体制に対する認識及び再編整備に対する所見
 - ・日本海地域農業の現況に対する認識
 - ・日本海地域農業の振興を図るための取組み
 - ・農家の経済状況及び土地改良事業費の負担状況の実態調査の結果並びに今後の施策
- 2 水産問題について
 - ・ホタテ壳行き不振及び価格低迷の実態に対する認識及び対処
 - ・台風10号による東胆振沖ホタテ漁場の被害状況

況

- ・ホタテ漁業者の経営対策への取組内容
 - ・代替漁場造成への取組み
- 3 高齢者の福祉対策について
- ・高齢者福祉社会の内容及び実現に向けての重要点に対する所見
 - ・保健、医療、福祉の連携に対する考え方及び取組み
 - ・在宅介護事業に取り組むことに対する所見
 - ・老人保健福祉計画の指導指針作成に当たっての手順及び体制
 - ・市町村に示す指針の内容
 - ・ガイドライン作成に当たっての本道の特殊性の反映方法

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後2時47分休憩、午後3時13分再開。

吉田 栄議員（社会）から、

- 1 道路整備対策について
 - ・うるおいのある道づくりに対する認識及びその事業に対する取組み
 - ・国道12号線直線区間整備に対する見解
 - ・平成5年度以降の道路緑化への取組み
 - 2 空港整備について
 - ・国の第六次空港整備五ヵ年計画に対する道内空港整備の進捗状況及び今後の取組み
 - ・国内航空路線網充実に向けての取組み
 - ・ダブル化・トリプル化の内容及び今後の見通し
 - 3 林業対策について
 - ・林業労働の現状に対する認識
 - ・林業労働者の育成確保に向けての取組み
- 4 自動車関連工業の振興について
- ・地場企業の自動車工業参入に向けての取組状況
 - ・地場企業の技術向上施策の展開
 - ・地場企業の参入に向けての金融支援に対する見解
- 等について質問があり、知事から答弁。

加藤 和久議員（自民）から、

- 1 國際先住民年について
 - ・國の國際先住民年の取組みに対する道の要望内容及び國の取組状況並びに今後の道の対応

- ・国際先住民年推進会議及びウタリ協会からの意見並びに要望内容
 - ・それに対する受止め及び取組内容
 - ・アイヌ新法制定に向けての対応及び国の検討状況
- 2 道有地の活用及び上川合同庁舎改築整備について
- ・調和ある発展のための道政理念の内容
 - ・道北圏における定住対策
 - ・旭川市永山地区の道有地に対する評価
 - ・この道有地の利用構想の検討状況
 - ・上川合同庁舎建設に向けての考え方及びスケジュール
- 3 観光産業振興対策について
- ・目標の内容及び実行計画並びに北海道観光宣言後の施策内容
 - ・国の施策、制度の創設等に対する要望内容
 - ・市町村及び民間に対する誘導に当たっての方針及び支援策
 - ・観光公共施設の整備の進捗状況
 - ・観光産業振興資金の利用状況低下の要因
 - ・融資条件改善に対する所見
 - ・融資枠の拡大及び融資条件の緩和の検討の有無
 - ・本道観光の現状認識及び観光客受入体制
- 等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時28分延会。

○12月8日（火） 午前10時33分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第27号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続。

佐藤 時雄議員（自民）から、

- 1 農業行政について
- ・農業品目の輸入自由化阻止に向けての決意及び取組み
 - ・復田の達成に向けての見通し及び円滑な復田を図るための対策
 - ・担い手対策に対する検討結果
 - ・農協合併に対する考え方
 - ・農協合併のため道がリーダーシップを取ることに対する見解
 - ・農協合併推進法人の仕組み及びスケジュール並びにこれに対する支援

- ・農協の高齢者福祉対策の取組事例及び今後の農協の指導方針
 - ・指導通達に対する農協の対応に対する所見
- 2 公共事業の執行及び支援機関の創設について
- ・建設業の役割及び現状に対する認識
 - ・建設業の発展のための構造改善への取組み
 - ・建設業の労働時間の短縮に向けての指導及び支援内容
 - ・発注の平準化に向けての取組み
 - ・道発注工事の工期設定の対策内容
 - ・設計積算の適正化に向けての取組み
 - ・設計・積算、施工管理に関する総合的支援機関創設に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

高木 繁光議員（自民）から、

- 1 道立中島体育センターの整備について
- ・整備実現に向けての取組み
 - ・改築に向けて札幌市からの要請に対する考え方
 - ・改築のための検討懇談会が出した中間まとめ報告の内容
 - ・新しい体育施設に対する考え方及び改築場所
 - ・建設計画内容及び来年度予算に向けての取組み
- 2 広島町南里の土地問題について
- ・この問題に対する受止め及び今後の取組み
- 等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午前11時39分休憩、午後1時13分再開。

板谷 実議員（民政）から、

- 1 輸入・対内投資法及び地方拠点都市整備法について
- ・北海道経済の活性化と2法施行との関係及び取組み
 - ・地方拠点都市整備法の地域指定の知事の権限
 - ・地方拠点都市地域の第二次指定に対する見解
 - ・地方拠点都市地域の圈域設定に対する道の指導方針
 - ・輸入促進政策に対する見解
 - ・輸入促進地域指定に対する見解
 - ・輸入促進地域圈域に対する考え方
 - ・この地域指定に向けての取組状況
- 2 新千歳空港について
- ・騒音問題等住民対応への決意
 - ・航空貨物量の推移及び貨物需要開拓に対する

見解

- ・航空機の性能向上とエアカーゴ構想との関係
- ・貨物輸送における貨物専用便と貨客両用機との割合の推移
- 3 外国産馬出走制限緩和について
 - ・出走緩和問題への対応
- 4 ホタテ漁業について
 - ・台風10号による被害額に対する考え方
 - ・河川の土砂流出防止対策
 - ・事業計画の拡張に対する見解
 - ・ホタテ稚貝の放流代及びその経費の助成
 - ・漁業災害に対する対応及び道単独の災害対応に対する見解
- 5 現警察本部庁舎跡地利用について
 - ・利用方法に対する考え方
- 6 教育問題について
 - ・主任制度問題への対応
- 7 警察行政について
 - ・交通事故防止、暴力団対策、凶悪犯罪等への対応

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

萩原 信宏議員（共産）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・自民党総裁選に右翼、暴力団が介在したことに対する認識
 - ・政治腐敗に対する見解
 - ・平成維新の会の理念に対する見解
 - ・慰安所実態調査の実施に向けての検討委員会設置に対する考え方
- 2 中小企業金融対策について
 - ・選別融資中止に向けた指導に対する見解
- 3 農業問題について
 - ・来年度の復田に対する特別助成に対する考え方
 - ・災害資金貸出金利に対する考え方
 - ・初妊牛を販売した酪農家への特別助成に対する考え方
 - ・農山村後継者育成条例制定に対する見解
 - ・グリーンリゾート形成に向けての取組み
- 4 小型さけます漁船操業違反について
 - ・漁船の経営実態に対する認識
 - ・道の水産庁への漁獲量報告内容
 - ・政府自民党の責任に対する見解
 - ・今回の事件に対する調査特別委員会設置に対

する見解

- 5 リゾート開発問題について
 - ・リゾート企業の社会的責任に対する考え方
 - ・阿寒国立公園内のゴルフ場計画に対する考え方
 - ・江別市水道源近くのゴルフ場計画に対する考え方
 - 6 教育問題について
 - ・私学助成及び小中高35人学級実現を求める署名に対する認識
 - ・私学助成額増額に対する見解
 - ・納付金凍結指導に対する見解
 - ・院内学級新增設に対する見解
- 等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。

石川 十四夫議員（道政）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・就任以来の外国訪問回数
 - ・空知産炭地域訪問回数
 - ・地方拠点都市地域として千歳市周辺地域に夕張市等の地域を含めることに対する見解
 - 2 産炭地域の振興について
 - ・産炭地域の振興に対する認識
 - ・生涯学習センター建設設計画に対する考え方
 - ・消防総合訓練センター整備に対する国の検討状況の把握及び赤平市の誘致に対する取組み等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。
- 議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上、審査する旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

木村 澄男（道政）	板谷 実（民政）
明田 辰義（自民）	加藤 和久（自民）
釣部 熱（自民）	山崎 正隆（自民）
神戸 典臣（自民）	乙川 節郎（公明）
段坂 繁美（社会）	平出 陽子（社会）
吉田 栄（社会）	井野 厚（社会）
鰐谷 忠（社会）	小山 誠司（社会）
土田 弘（社会）	高橋 文明（自民）
永井 利幸（自民）	野呂 善市（自民）

和田 敬友（自民） 小野寺 勇（自民）
勝木 省三（自民） 吉川 貴盛（自民）
工藤万砂美（自民） 浅野 俊一（公明）
西本 美嗣（社会） 大内 良一（社会）
岡本栄太郎（社会） 吉野 之雄（社会）
岩崎 守男（社会） 橋 浪藏（自民）
平野 明彦（自民）

○決算特別委員（27人）

萩原 信宏（共産） 木村 澄男（道政）
伊藤 政信（社会） 石井 孝一（自民）
清水 誠一（自民） 山口幸太郎（自民）
神戸 典臣（自民） 吉田 栄（社会）
鰐谷 忠（社会） 小池 昌（社会）
土田 弘（社会） 長沢 徹（社会）
吉田 恵悦（公明） 永井 利幸（自民）
和田 敬友（自民） 小野寺 勇（自民）
湯佐 利夫（自民） 吉川 貴盛（自民）
水野 重男（民政） 高橋 庸（社会）
吉野 之雄（社会） 岩崎 守男（社会）
渋谷 澄夫（社会） 橋 浪藏（自民）
久田 恭弘（自民） 高木 繁光（自民）
吉田 政一（自民）

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、12月9日休会することに決定して、午後3時5分散会。

○12月10日（木） 午後4時32分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時33分休憩、午後11時38分再開。諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を12月11日まで1日間延長することを諮り、異議なく決定。午後11時39分散会。

○12月11日（金） 午後4時37分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時38分休憩、午後11時44分再開。諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、会期を12月12日まで1日間延長することを諮り、異議なく決定。12月12日は休日であるが、議事の都合により特に午前零時5分に繰り上げ、会議を開くことを諮り、異議なく決定。午後11時46分散会。

○12月12日（土） 午前6時34分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、今期定例

会の会期を12月14日まで2日間延長することを諮り、異議なく決定。午前6時35分散会。

○12月14日（月） 午後4時18分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時19分休憩、午後7時36分再開。諸般の報告の後、

議長から、元議員宇野 真平氏の逝去（12月11日）について弔意を表した旨、元北海道知事町村金五氏の逝去（12月14日）について弔意を表する旨報告の後、石川十四夫議員（道政）から12月8日の本会議における一般質問での発言の内容を訂正したい旨申出があり、申出のとおり会議録を訂正する旨了承。

日程第1 議案第1号ないし第27号を議題とし、予算特別、総務、文教、農政、建設、商工労働観光各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋 晃議員（共産）から、議案第1号、第6号、第7号、第9号及び第24号に関する反対討論並びに議案第26号に関する賛成討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第1号、第6号、第7号、第9号及び第24号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決（共産反対）。

次に議案第2号ないし第5号、第8号、第10号ないし第23号及び第25号ないし第27号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり可決。

日程第2 議案第28号及び第29号を議題とし、知事から提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決に入り、本件をいずれも異議なく原案のとおり同意議決。

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙を議題とし、選挙の方法は指名推せんによること及び指名の方法は議長において指名することを異議なく決定。議長より選挙管理委員、同補充員を指名後、議長指名のとおり当選人とすること及び補充員の委員補充順位を指名の順位とすることを異議なく決定。

日程第4 決議案第2号及び第3号を議題とし、高橋 庸議員（社会）から、決議案第2号に関する提案説明、神戸典臣議員（自民）から決議案第3号に関する提案説明の後、委員会付託を省略し、討論に入り、永井利幸議員（自民）から決議

案第2号に関する反対討論、吉田恵悦議員（公明）から決議案第2号に関する賛成討論、大橋晃議員（共産）から決議案第3号に関する反対討論、木村澄男議員（道政）から決議案第3号に関する賛成討論があって、討論終結。

採決に入り、決議案第3号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって否決（社会、公明、民政、共産反対）。

次に、決議案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決（自民、道政反対）。

日程第5 決議案第4号及び第5号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

日程第6 意見案第2号ないし第6号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略し、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、意見案第4号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、意見案第4号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決（共産反対）。

次に、意見案第2号、第3号、第5号及び第6号を問題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決。

決算特別委員長からの申出のとおり、報告第1号について閉会中継続審査に付することを異議なく決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各関係委員長から申出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することを決定。

今期定期例会に付議された案件は、報告第1号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後8時43分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、12月8日設置され、平成4年度各会計補正予算11件及びこれに関連する議案4件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委

員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、 委員長に 鰐谷 忠君

副委員長に 高橋 文明君

第2分科会は、 委員長に 和田 敬友君

副委員長に 井野 厚君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、12月9日、各部所管の審査入り、同日、各分科会の一切の質疑を終了し、12月10日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、当面措置を要する経費及び事業の確定に伴う経費並びに道職員の給与改定及び知事等の特別職員の報酬改定などについて所要の措置を講じようとするものであり、総額636億5,500万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する案件でありますと、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、分科会において質疑保留となった事項、すなわち、道北地域振興計画策定調査について総括質疑を行い、本日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号ないし第6号及び第14号ないし第22号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 科学技術庁が実施した道北地域振興計画策定調査説明会に係る情報の確認について、道の対応に不十分な点があったことは遺憾である。

よって、道は、科学技術庁に対し誠意をも

って対応し、信頼の確立に努めるとともに、
今後の行政執行に支障を来さぬよう努めるべ
きである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、
全会一致、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経
過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 1	1	平成4年度北海道一般会計補正予算(第4号)	予算特別	12. 14	原案可決
同	2	平成4年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	平成4年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	4	平成4年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	5	平成4年度北海道病院事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	平成4年度北海道工業用水道事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	7	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	8	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文教	同	同
同	9	農用地整備公団営事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農政	同	同
同	10	公共下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	11	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同	同	同
同	12	工事請負契約の締結(東鷹栖東旭川線新永山橋架換工事)に関する件	同	同	同
同	13	財産の取得(土地・北海道警察函館方面本部函館運転免許試験場用地)に関する件	総務	同	同
12. 4	14	平成4年度北海道一般会計補正予算(第5号)	予算特別	同	同
同	15	平成4年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	16	平成4年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	17	平成4年度北海道病院事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	18	平成4年度北海道有林野事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	19	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	20	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	21	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	22	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案	商工労働観光	同	同
同	24	北海道知事等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	25	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	文教	同	同
同	27	北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
12. 14	28	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	29	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
12. 1	1	平成3年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件			継続審査
同	2	平成3年度北海道継続費精算報告の件			報告のみ
同	3	平成3年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	4	平成3年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	5	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成4年11月4日1件、平成4年11月10日1件、平成4年11月13日1件、平成4年11月25日1件、平成4年11月25日1件専決処分）			同

第4回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 9	2	竹下登衆議院議員の辞職を求める決議	高橋 康議員ほか3人	12. 14	原案可決
同	3	竹下登衆議院議員の出処進退と政治の信頼回復を求める決議	神戸典臣議員ほか1人	同	否 決
同	4	参議院議員定数是正案に反対する決議	神戸典臣議員ほか4人	同	原案可決
同	5	私学助成・学級編制など行き届いた教育を求める決議	神戸典臣議員ほか5人	同	同

※決議案第1号は議題となる前に撤回された。

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
12. 3	1	景気対策予算の早期成立に関する意見書	神戸典臣議員ほか4人	12. 3	原案可決
12. 14	2	農畜産物の完全自由化につながる「包括的関税化」拒否に関する意見書	大野新生議員ほか13人	12. 14	同
同	3	第4次土地改良長期計画に関する意見書	同	同	同
同	4	第11次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する意見書	勝木省三議員ほか13人	同	同
同	5	太平洋小型さけ・ます流し網漁業問題に関する意見書	吉野之雄議員ほか12人	同	同
同	6	森林・林業・木材産業の活性化に関する意見書	同	同	同

決議案

決議案第2号 竹下登衆議院議員の辞職を求める決議

(平成4年4定
高橋庸議員ほか3人提出)
平成4年12月14日原案可決)

佐川急便事件をめぐる政治腐敗の焦点は、五億円献金問題と自民党総裁選に右翼、暴力団が介在したことである。

先の国会における証人喚問において、竹下登氏は自らの関与は否定した。

しかし、田中邸訪問と暴力団介在の係わりを事実上認め、また、1988年12月に暴力団関与を知った、と証言したことにより、すくなくともその時点から政治責任は発生していると、言わざるを得ない。

一国の総理の誕生が、暴力団の手を借りた恥すべきものとなった以上、竹下氏は、事件の全容を国民の前にあきらかにするとともに、わが国の政治史上に汚点を残したその政治的責任を負いすみやかに議員を辞職すべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

決議案第3号 竹下登衆議院議員の出処進退と政治の信頼回復を求める決議

(平成4年4定
神戸典臣議員ほか1人提出)
平成4年12月14日否決)

この度の東京佐川急便事件をはじめとして、国會議員が関与したとされる不祥事が続発していることは、政治に対する国民の信頼を根底から揺るがすもので、極めて遺憾である。

とくに、佐川急便事件においては、竹下元総理大臣が結果として関わっていたとされ、暴力団との関連も取り沙汰されていることは、国會議員としての倫理的責任が厳しく問われているものと言わざるを得ない。

よって、竹下元総理においては、佐川急便事件に関わる事実関係を明確にするとともに、これに基づく自らの出処進退を明らかにし、国民の不信と疑惑を払拭すべきである。

また、政府並びに国会においては、本件に関わる徹底した真相究明につとめると共に、政治の信頼回復を図るため、早急に関係法令の整備を進めるよう求めるものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

決議案第4号 参議院議員定数是正案に反対する決議

(平成4年4定
神戸典臣議員ほか4人提出)
平成4年12月14日原案可決)

参議院においては、衆議院議員定数是正のための「九増十減」案と並行して、参議院における「四増四減」案が検討されており、北海道はこれによる減員対象区となることが明らか

となっている。

しかし、この是正案は、単に人口比例で定数を割り振ったため、参議院制度本来の趣旨や地域の特殊性が無視されているばかりか、選挙民の不平等感を一層増幅させるものとなっていると言わざるを得ない。

とくに、北海道選挙区の減員は、本道が広域ブロックという特殊性を有することから、金のかからない選挙を目指す政治改革に逆行する結果を招きかねないことが憂慮されるのである。

よって、参議院定数の是正は、選挙制度の抜本改革を待つて行うべきであり、「四増四減」の是正案に反対するものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

決議案第5号 私学助成・学級編制など行き届いた教育を求める決議

(平成4年4定
神戸典臣議員ほか5人提出)
平成4年12月14日原案可決

行き届いた教育により、どの子も健やかに成長してほしいとの道民の願いは切実である。本道においても、受験競争の激化や非行の低年齢化、学校不適応の増加など、教育をめぐる状況は深刻であり、これらに対応する教育行政の充実が求められている。

道においては、当面、高校における40人学級の早期実現、障害児に対する後期中等教育の拡充など、教育条件を国との協力も得て整備に努めるとともに、苦しい経営と重い父母負担が強いられている私学教育を振興するため私学助成の一層の増額を図るべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

※ 決議案第1号は議題となる前に撤回された。

意 見 案

意見案第1号 景気対策予算の早期成立に関する意見書

(平成4年4定
神戸典臣議員ほか4人提出)
平成4年12月3日原案可決

国内経済の厳しい情勢に対処するため、国においては8月28日、総合経済対策を決定し、平成4年度補正予算を今国会に提案されているところであるが、公共事業の関係施策の早期執行は、総合経済対策の実効を図るために極めて重要である。

最近の北海道の経済は、減速傾向が強まるとともに、先行き不透明な状況にあり、また、基幹産業である農業や水産業は、農産物の自由化、公海での操業規制などの問題を抱え、さらに、本年9月には三井芦別炭鉱が閉山されるなど依然として厳しい状況にある。

また、本道は公共事業に依存する度合いが高く、脆弱な経済基盤にあり、加えて、積雪寒冷地であるため、工事期間が限られることから、事業の早期発注が必要とされ、公共事業等の執行の遅れは、本道経済や道民生活に大きな影響を与えるものである。

よって、国においては、地方の切実な実情を踏まえ、現下の不況を克服するため、景気対

策予算を1日も早く成立させ、早期執行をはかられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、農林
水産大臣、通商産業大臣、運輸大臣、建設
大臣、自治大臣、北海道開発庁長官 各通

意見案第2号 農畜産物の完全自由化につながる「包括的関税化」拒否に関する意見書

（平成4年4定
大野新生議員ほか13人提出）
（平成4年12月14日原案可決）

農業は、元来自然と調和しながら農地等の維持管理を通じて生産を行うという特性を有しており、国民食料の安定確保にとどまらず、国土、環境の保全、さらに地域社会の維持発展に欠くことのできない重要な産業である。

このような多面的な機能を有する農業の公益性を考慮せず、経済効率性の観点で米までも貿易の自由化にさらすことは、本道農業を壊滅に追い込むのみならず、国家の存立基盤及び国民生活を危機にさらすものである。

ガット農業交渉が大詰めを迎える中で、政府は、国会決議に基づき毅然たる態度で我が国の立場を主張し、左記事項を実現するよう強く要望する。

記

「包括的関税化」を拒否し、米の国内完全自給の方針を堅持するとともに、ガット第11条第2項（C）の規定を明確化し、乳製品、でん粉、雑豆等の現行輸入規制措置を存続すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 各通

意見案第3号 第4次土地改良長期計画に関する意見書

（平成4年4定
大野新生議員ほか13人提出）
（平成4年12月14日原案可決）

農業農村整備事業は、農業生産基盤の整備を通じて、生産性の高い農業を実現するとともに、農村の生活環境の整備を図り、快適で美しい田園空間の形成による定住条件の向上など、農業・農村を総合的に整備し、国土の均衡ある発展を図るために重要な役割を果たしている。

とりわけ、本道においては、恵まれた土地資源を生かしながら生産性の高い農業の確立に努めるとともに、自然環境と美しい農村景観を生かした活力とうるおいのある農村づくりに積極的に取り組んでいるところであるが、このためには、農家負担に配慮しつつ、なお一層、農業生産基盤の整備が必要であるとともに、都市に比べ立ち遅れている農村の生活環境を整備し、本道の特性を最大限に生かした魅力ある農村の建設を積極的に推進する必要がある。

よって、政府においては、平成5年度を初年度とする第4次土地改良長期計画において、積極的な投資規模を確保するとともに、農業農村整備事業を強力に推進するよう強く要望

する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣} 各通
農林水産大臣、北海道開発庁長官}

意見案第4号 第11次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する意見書

(平成4年4定
勝木省三議員ほか13人提出)
(平成4年12月14日原案可決)

道路整備の促進は、北海道の地域の活性化と豊かな生活を実現するための緊急の課題であり、今後、高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備を強力に推進し、道路交通の安全、環境と調和したゆとりある生活の実現、一極集中の是正による活力ある地域社会の形成を図る必要がある。

よって、政府におかれては、道路整備の重要性を深く認識され、平成5年度を初年度とする第11次道路整備五箇年計画の総投資規模76兆円を満額確保し、計画の確実な実行を図るため、道路特定財源を充実し、一般財源の大幅投入を図るよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣} 各通
自治大臣、北海道開発庁長官}

意見案第5号 太平洋小型さけ・ます流し網漁業問題に関する意見書

(平成4年4定
吉野之雄議員ほか12人提出)
(平成4年12月14日原案可決)

北洋さけ・ます漁業は、昭和31年の我が国と旧ソ連との交渉により操業が開始されて以来、30年以上に亘り、我が国北洋漁業の主役として地域経済の発展に寄与してきたところであるが、その漁場は年々狭められ、本年からは公海における漁獲が全面的に禁止され、各国の200海里内における操業のみが残された。

このような情勢の中で、本年、本道の太平洋小型さけ・ます漁船による公海での大量違反操業が発生したことは、国際信義上、誠に遺憾であると言わざるを得ない。

しかし、本漁業は、北海道、特に道東海域の春季の漁業として、地域経済の重要な地位にあるとともに、漁業経営の根幹を占めているものであり、今後とも、その存続が必要であることから、政府におかれては、明年予定されている日ロさけ・ます漁業交渉において、経営に見合った漁獲割当量の確保、漁業協力金の引下げを強く求められるとともに、漁業再編に当たっての救済措置など、本漁業継続のための諸対策を講ずるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、外務大臣} 各通
大蔵大臣、農林水産大臣}

意見案第6号 森林・林業・木材産業の活性化に関する意見書

（平成4年4定
吉野之雄議員ほか12人提出）
（平成4年12月14日原案可決）

北海道の基幹産業である林業・木材産業は、外材輸入の増大や経営コストの增高から森林所有者の経営意欲の減退を招いていることに加え、林業従事者の減少、高齢化の進行など、一段と厳しい状況にある。

また、国民生活に欠かせない緑と水の源泉である森林については、その多面的機能の高度発揮に対する社会的要請が一層高まっている。

これらの状況に対処するためには、林業・木材産業の活性化を図ることはもとより、山村地域の振興、社会資本としての森林の整備について緊急に取り組む必要がある。

このため、新しい政策方向として打ち出された民有林・国有林が一体となって行う「流域管理システム」の推進に当たっては、実効性のあるものとするために必要な措置を講ずるとともに、社会資本としての森林・緑環境を公的管理のもとで整備促進するために新たな財政支援措置を講ずるほか、厳しい環境にある国有林経営の安定強化を図るために、民有林の振興に影響のないよう別途財政措置を講ずるなど、抜本的な森林・林業・木材産業対策が図られるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣總理大臣、大蔵大臣} 各通
自治大臣、農林水産大臣}

請　願・陳　情

① 第4回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請　願

文書表番号	件　　名	請　願　者	付　託　委員会	審査の結果
62	労働省の職業安定県機関、労働基準局、婦人少年室、労働基準監督署、公共職業安定所等労働行政機関の大幅増員要請についての意見書採択に関する件	全労働省労働組合北海道支部執行委員長 小路加寸男	商工労働観光	継続審査
63	保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 森谷 尚行(外1件)	生活福祉	同
64	町立病院・国保病院の老人病院化に反対し制度改善に関する議会決議を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 森谷 尚行	保健環境	同
65	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 会長 田中一(外1件)	文教	同
66	保育所「最低基準」の職員配置の改善を求める意見書提出に関する件	北海道保育団体連絡会 会長 琵琶湖 英機	生活福祉	同
67	道内中小業者の経営と生活危機打開に関する件	北海道商工団体連合会 会長 星 三男	商工労働観光	同
68	道内中小業者の経営安定緊急対策のため政府に対する意見書の採択に関する件	同	同	同
69	ゆたかな私学教育実現のために私学助成の拡充を求める件	連合北海道 会長 兼古 哲郎外4人	文教	同

② 継続審査中のものであって、第4回定例会において採否の決定があったもの。

請　願

文書表番号	件　　名	請　願　者	付　託　委員会	審査の結果
56	千歳川放水路計画の抜本的見直しを求める件	北海道労働組合総連合議長 山口 康夫外1人	総合開発調査特別	不採択

③ 継続審査中のものであって、更に継続審査されるもの。

請　願

文書表番号	件　　名	付　託　委員会
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関する件	総務
7	「北海道分県」の実現を求める件	同
9	小選挙区制導入に反対する決議を求める件	同
16	小選挙区制の導入に反対する意見書の採択を求める件	同
17	馬追丘陵におけるゴルフ場造成計画に関する件	同
19	李恩恵拉致事件の真相究明及び原状回復を求める意見書提出に関する件	同
55	道職員の完全週休2日制実施を求める件	同
60	自衛隊のカンボジア派兵反対に関する件	同

文書番号	件名	付託委員会
11	在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件	生活福祉
13	国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件	同
22	18歳到達による児童扶養手当支給喪失者に対する支給延長制度に関する件	同
41	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
44	在職老齢厚生年金の支給率の改善を求める件	同
50	従軍慰安婦問題等日本の戦後責任をはたすために資料公開、謝罪・補償を求める件	同
5	北海道看護職員養成修学資金の貸付枠拡大を求める件	保健環境
6	北海道立寿都病院の町移管に反対する件	同
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件（注）	同
23	6歳未満児の歯科治療費に対する助成を求める件	同
42	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
54	労働時間短縮、全労働者の完全週休2日制など労働基準法等の抜本的改正を求める意見書採択に関する件	商工労働観光
3	私学助成の抜本的拡充と小中高35人以下学級の早期実現を求める件	文教
8	子供たちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現を求める件	同
24	岩見沢の高校間口削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	同
25	ゆたかな高校教育を保障するために、学級削減に反対し、40人以下学級の実現を求める件	同
26	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	同
27	足寄高校の4学級維持と、35人以下学級の早期実現を求める件	同
28	滝川西高等学校の間口維持及び高校の40人以下学級の実現を求める件	同
29	江差高校、熊石高校、上ノ国高校の間口削減に反対する件	同
30	函館中部・工業・商業・東・上磯・七飯高校の間口削減、函館西高校定時制募集停止に反対する件	同
32	網走第四学区の高校間口の存続と40人以下学級の早期実現を求める件	同
33	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	同
34	函館東高校の間口削減に反対する件	同
35	八雲高等学校（普通科）の間口削減に反対する件	同
36	高等学校40人学級の早期実施を求める件	同
37	ゆたかな私学教育の実現を求める件	同
38	旭川工業高等学校に設備工業科の設置を求める件	同
39	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	同
40	道内公立高校40人学級の主要都市への実施を求める件	同
45	福島町立浦和小学校への早期水道設置の指導を求める件	同
48	92年度道予算における公共料金引上げ反対に関する件	同
49	平取養護学校に高等部の併設を求める件	同
51	高等養護学校設置を求める件	同
52	第6次（高校第5次）教職員定数法の早期制定を求める件	同

文書表番号	件名	付託委員会
53	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持を求める件	文教
57	道職員の完全週休2日制実施を求める件	同
58	道立高等養護学校設置を求める件	同
61	公立高校の入学定員削減反対を求める件	同

(注) 請願第18号は第2項及び第3項を除き継続審査。

陳情

文書表番号	件名	付託委員会
4	北海道の気象事業整備・拡充を求める件	総務
6	千歳市のゴルフ場新設計画に関する件	同
3	産業廃棄物の不適正処理への指導強化を求める件	保健環境
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	同
12	公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件	商工労働観光
13	同	水産林務
7	千歳市におけるゴルフ場造成等による森林の大規模開発を全面凍結し、国の天然記念物クマゲラの生息地を守る野鳥生息地調査の実施を求める件	文教

委員会の動き

議会運営委員会

○11月24日（火） 開議 午後1時40分

散会 午後1時43分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 第4回定例会の招集期日を12月1日とすることを了承し、会期は10日間とすることを決定。
- ② 総務部長から、第4回定例会の提出予定案件について説明。
- ③ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることを決定。

▽ 第4回定例会

12月1日	本会議（提案説明）
2日	休会
3日	本会議（代表質問）
4日	本会議（代表・一般質問）
5日・6日	休会
7日	本会議（一般質問）
8日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
9日	休会
10日	本会議

- ④ 代表質問について、順位は、社会、自民、民政、公明の順とすることを了承。代表質問の各会派の発言時間の使用状況について報告。
- ⑤ 11月16日に、北海道選挙管理委員会委員長から議長に対し、北海道選挙管理委員及び同補充員の任期が12月27日をもって満了するため、道議会において選挙願いたい旨申出があり、本件の取扱いについて各会派会長会議において協議中である旨議長から連絡があった旨報告。本件に関する選挙の方法等、議事運営上の取扱いについては、後日協議することを了承。

○11月30日（月） 開議 午前11時37分

散会 午前11時42分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 代表質問の通告について、12月1日正午までとすることを了承。
- ③ 一般質問について、順位は、従来の例により取り進めることを了承。通告は12月2日正午までとすることを了承。
- ④ 予算及び決算特別委員会について、委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料のとおりとすること、予算特別委員会の構成については共産及び道政が同率のため、両派間において調整すること、調整結果は後日報告すること、委員名簿は12月4日正午までに提出することを了承。
- ⑤ 議案調査のため、12月2日休会し、12月3日再開することを決定。
- ⑥ 12月1日の本会議の議事順序については、明日協議することを了承。

○12月1日（火） 開議 午前9時32分

散会 午前9時34分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総合開発調査特別委員会から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ② 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○12月3日（木） 開議 午前9時53分

散会 午前9時59分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 配付のとおり意見案第1号及び決議案第1号の提出があった旨報告。本件の取扱いについて、意見案第1号は本日の本会議において議決し、決議案第1号については改めて協議することを決定。
- ② 代表質問の通告（4人）について報告。
- ③ 代表質問の進め方について、本日2人、明

日 2 人行うことを決定。

- ④ 一般質問の通告（9人）について報告。
- ⑤ 一般質問の諸派の順位については輪番制とすることとなっており、今回は共産党、道政クラブの順となることを了承。個人別順位について、各会派内における順位等に変更がないことを確認の後、議事課長説明のとおりとすることを了承。
- ⑥ 一般質問の進め方について、12月4日は代表質問終了後2人、7日3人、8日4人の予定で取り進めることを決定。
- ⑦ 総務委員長が地方交付税確保緊急総決起大会出席のため、明日の本会議を欠席することを了承。
- ⑧ 総務部長から、鈴木弘泰副知事が地方交付税確保緊急総決起大会出席のため、明日の本会議を欠席する旨発言があり、了承。
- ⑨ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ⑩ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○12月4日（金） 開議 午前9時37分

散会 午後5時22分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ⑪ 総務部長から、昨日の高橋一史議員（自民）の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、了承。
- ⑫ 総務部長から、追加提出する案件について説明の後、本日提出することとし、本件に関する知事の提案説明を行う時期については、改めて協議することを了承。午前9時41分休憩、午後4時37分再開。
- ⑬ 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を持続することを決定。午後4時38分休憩、午後5時18分再開。
- ⑭ 総務部長から、高橋議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は高橋議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを了承。
- ⑮ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ⑯ 12月7日の本会議の開会時間を午前10時と

することを決定。

- ⑰ 代表及び一般質問の進め方について、本日代表質問1人（継続）を行い、12月7日代表質問2人、一般質問3人、8日一般質問6人を行うことを決定。
- ⑱ 本日の本会議について、高橋議員の代表質問の継続を行い、延会することを了承。

○12月7日（月） 開議 午前9時34分

散会 午前9時37分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ⑲ 追加提出議案に関する知事の提案説明について、本日代表質問終了後、追加日程として行うことを決定。
- ⑳ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ㉑ 本日の本会議について、代表質問2人行った後、議事をいったん中止し、追加日程として追加提出議案に関する知事の提案説明を行った後、日程第1の議事にあわせ一括議題とし、一般質問に入り、一般質問3人を行うことを了承。
- ㉒ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○12月8日（火） 開議 午前9時37分

散会 午前9時45分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ㉓ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ㉔ 本日の本会議について、一般質問5人を行うことを了承。
- ㉕ 予算及び決算特別委員会について、予算特別委員会の諸派の委員については共産及び道政の話合いの結果、今回は道政とすること、各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付資料のとおり決定した旨報告。両特別委員会の委員の選任について、配付名簿のとおりとすることを決定。
- ㉖ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることを決定。
- ㉗ 各委員会付託議案審査のため、12月9日休

会、12月10日再開することを決定。

- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○12月10日（木） 開議 午前9時38分

散会 午後11時30分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会各分科会は終了、総括質疑1人質問者を残している状況にあること、各常任委員会付託議案については、いずれも議了していない旨報告。

- ② 決議案第1号が取り下げられ、決議案第2号ないし第5号の提出があり、取扱いについては改めて協議する旨報告。午前9時40分休憩、午後4時25分再開。

- ③ 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後4時26分休憩、午後11時29分再開。

- ④ 予算特別委員長から、予算特別委員会において、総括質疑を継続している状況にあり、なお時間を要する見込みである旨話があつた旨報告。

- ⑤ 各常任委員会付託議案について、いずれも議了していない旨報告。

- ⑥ 今期定期例会の会期は本日までとなっているが、本日中にすべてを議了するのは困難であり、会期を12月11日まで1日間延長することを決定。

○12月11日（金） 開議 午前9時42分

散会 午後11時20分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 予算特別委員会及び各常任委員会付託議案についていずれも議了していない旨報告。午前9時43分休憩、午後4時30分再開。

- ② 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後4時31分休憩、午後11時18分再開。

- ③ 予算特別委員長から、予算特別委員会において総括質疑の質疑を継続している状況にあり、なお時間を要する見込みである旨話があ

った旨報告。

- ④ 各常任委員会付託議案については、いずれも議了していない旨報告。

- ⑤ 今期定期例会の会期は本日までとなっているが、本日中にすべてを議了するのは困難であり、会期を12月12日まで1日間延長し、12月12日は休日であるが、議事の都合により特に本会議を開くこととし、開議時間を午前零時5分に繰り上げることを決定。

○12月12日（土） 開議 午前5時35分

散会 午前5時36分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 予算特別委員長から、予算特別委員会の審議になお時間を要する旨話があつた旨報告。

- ② 今期定期例会の会期は本日までとなっているが、本日中にすべてを議了するのは困難であり、会期を12月14日まで2日間延長し、12月14日の本会議開会時刻を午前10時とすることを決定。

○12月14日（月） 開議 午前9時50分

散会 午後7時

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 予算特別委員会の審議状況について、なお時間を要する旨報告。午前9時51分休憩、午後4時10分再開。

- ② 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後4時11分休憩、午後6時53分再開。

- ③ 元道議會議員宇野眞平氏の逝去（札幌市中央区選出、第18期～23期在職、12月11日逝去）について報告。

- ④ 石川十四夫議員（道政）から、12月8日の本会議における一般質問での発言に関し、発言の一部を訂正したい旨申出があり、再開後の本会議において議長から報告のうえ、会議録を訂正することを了承。

- ⑤ 各委員会付託議案の審議をすべて議了した旨報告。

- ⑥ 決算特別委員会の審議状況について、報告第1号は継続審査とすることに決定した旨報

告。

- ⑦ 総務部長から、本日、追加提出の案件について説明の後、議案第28号及び第29号の人事案件については、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑧ 北海道選挙管理委員及び同補充員の選挙について、本日の本会議において行うことを了承。選挙すべき委員は4人、補充員は4人であり、選挙の方法については指名推せんによること、指名の方法については議長において指名すること、選挙管理委員及び同補充員の指名については、配付名簿のとおりとすること、補充員の委員補充順位は、配付名簿の指名順位とすることを決定。
- ⑨ 決議案の取り扱いについて、先日提出があった決議案第2号ないし第5号は本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑩ 意見案第2号ないし第6号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑪ 閉会中継続調査申出の件につき、配付のとおり、会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出ることを決定。
- ⑫ 再開後の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

常任委員会

総務委員会

○11月10日（火） 開議 午後1時51分
散会 午後2時3分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一般議事

- ① 企画振興部長からオホーツク科学文化交流拠点構想の承認申請について報告。
- ② 企画振興部長から地方拠点地域の選定について報告。
- ③ 警察本部交通部長から道央自動車道における多重事故の搜査結果等について報告。
- ④ 行財政状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ⑤ 地方交付税率の堅持及び総額の確保並びに国民の祝日「海の日」の制定に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

○11月30日（月） 開議 午前11時9分
散会 午前11時29分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 久田恭弘委員（自民）から質疑
　　国景気対策補正予算について

○12月14日（月） 開議 午後5時36分
散会 午後5時44分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

付託案件の審査

議案第7号

札幌医科大学条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第13号

財産の取得に関する件 (原案可決)
議案第24号

北海道知事等の給与等に関する条例等の一部
を改正する条例案 (原案可決)

議案第25号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一
部を改正する条例案 (原案可決)

議案第27号
北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する
条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるもの
を含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 平成5年度国と北海道関係予算に関する中
央折衝の実施を決定。
- ③ 歳末取締視察の実施を決定。
- ④ 所管事務について閉会中継続調査の申出を
することを決定。

生活福祉委員会

○11月10日（火） 開議 午後1時50分
散会 午後2時55分
第3委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一般議事

- ① 北靈碑慰靈祭の参列を決定。
- ② 山口幸太郎委員（自民）から質疑
女性の自立プランの推進について
大橋 晃委員（共産）から質疑
障害者の問題について

○11月30日（月） 開議 午前10時30分
散会 午前11時25分
第3委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一般議事

- ① 生活福祉部長から、第4回定例会提出予定
案件について説明。
- ② 大橋 晃委員（共産）から質疑
国民健康保険の資格証明書について

○12月14日（月） 開議 午後5時30分
散会 午後6時5分
第3委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一般議事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実
施を決定。
- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申
出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出
をすることを決定。
- ④ 大橋 晃委員（共産）から質疑
国民健康保険の資格証明書について

保健環境委員会

○11月10日（火） 開議 午後1時42分
散会 午後3時2分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 保健環境事情に関する道内調査の実施概要
の報告を了承。
- ② 「環境基本法（仮称）の早期制定を求める
意見書」及び「精神病院における医療及び保
護の充実に関する意見書」に関する中央折衝
の実施概要の報告を了承。
- ③ 加藤和久委員（自民）から質疑
 - (1) 野生大麻撲滅対策について
 - (2) 環境教育について
- 萩原信宏委員（共産）から質疑
 - (1) 洞爺湖リゾートの災害発生について
 - (2) 脳卒中後遺症患者の機能回復訓練事業に
について

○11月30日（月） 開議 午前10時25分
散会 午前11時25分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 保健環境部長から、第4回定例会提出予定
案件について説明。
- ② 保健環境部長から、石狩川水系当別ダム建

設事業等に係る環境影響評価について報告。
③ 小原葉子委員（社会）から質疑
　　アスペクト問題について
　　萩原信宏委員（共産）から質疑
　　サホロリゾート開発の問題について

○12月14日（月） 開議 午後5時20分
散会 午後5時35分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ④ 萩原信宏委員（共産）から質疑
 - (1) 福祉医療問題について
 - (2) 精神障害者共同作業所の運営について

② 平野明彦委員（自民）から要望及び意見。
　　北海道フェスティバルについて

○12月14日（月） 開議 午後5時21分
散会 午後5時35分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

付託案件の審査

議案第23号

北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

一般議事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 商工労働観光部長から平成4年度上期における本道観光客入込みの概要について報告。

農政委員会

商工労働観光委員会

○11月10日（火） 開議 午後1時47分
散会 午後2時2分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一般議事

- ① '92北海道フェスティバル出席結果を報告。
 - ② 商工労働観光事情に関する道外調査の実施を決定。
 - ③ 商工労働観光部長から、'92北海道フェスティバル開催結果について説明。
- 吉川貴盛委員（自民）から質疑

○11月30日（月） 開議 午前10時33分
散会 午前10時42分
第8委員会室
委員長 関根 建二（社会）

一般議事

- ① 商工労働観光部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○11月10日（火） 開議 午後1時40分
散会 午後2時2分
第7委員会室
委員長事故のため
副委員長 土田 弘（社会）

一般議事

- ① 農政部長から、平成4年産農作物の作柄状況等について報告。
- ② 農政部長から、平成4年度ホッカイドウ競馬終了に伴う発売成績（概数）について報告。
- ③ 石川十四夫委員（道政）から質疑及び要望。

黒毛和種の生産振興について
(関連して、古川靖晃委員（自民）から質疑及び要望。)

○11月30日（月） 開議 午前10時35分
散会 午前11時3分
第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

一般議事

- ① 農業事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、水田営農活性化対策について報告。
明田辰義委員（自民）及び中川隆之委員（自民）から質疑

○12月14日（月）開議 午後5時28分
散会 午後5時34分

第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

付託案件の審査

議案第9号

農用地整備公団営事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

一般議事

- ① 「農畜産物の完全自由化につながる『包括的関税化』拒否に関する意見案」及び「第4次土地改良長期計画に関する意見案」の発議並びに中央折衝の実施を決定。
- ② 平成5年度国の北海道開発予算に関する中央接衝の実施を決定。
- ③ 農政部長から水田営農活性化対策に係る転作等目標面積等の配分について報告。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

建設委員会

○11月10日（火）開議 午後1時35分
散会 午後1時47分
第4委員会室
委員長 勝木 省三（自民）

一般議事

- 土木部長から、平成4年度除雪事業計画の概要について説明。

○11月30日（月）開議 午前10時23分
散会 午前11時7分

第4委員会室

委員長 勝木 省三（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 石井孝一委員（自民）から質疑
 - (1) 公開設計競技について
 - (2) 全国建築士大会に対する援助について
 - (3) 道道の街路樹及び区画線について
 - (4) 一般国道の追加指定及び道道への昇格について
 - (5) 補正予算の執行について

○12月14日（月）開議 午後5時33分
散会 午後5時41分

第4委員会室

委員長 勝木 省三（自民）

付託案件の審査

議案第10号

公共下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議案第11号

北海道道の路線の認定及び廃止に関する件
(原案可決)

議案第12号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）

一般議事

- ① 「第十一次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する意見案」の発議を決定。
- ② 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 建設事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ④ 「第十一次道路整備五箇年計画及び第三次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画における総投資規模の確保等」に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ⑤ 建設事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

水産林務委員会

○11月10日（火） 開議 午後1時25分
散会 午後2時46分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 水産部長から、太平洋小型さけ・ます流し網漁業の違反問題について報告。
川尻秀之委員（自民）、鰐谷 忠委員（社会）及び伊藤武一委員（公明）から質疑

○11月30日（月） 開議 午前10時36分
散会 午前10時52分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、平成4年秋さけ親魚捕獲状況等について報告。
- ③ 水産林務事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

○12月14日（月） 開議 午後5時30分
散会 午後5時47分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄（社会）

一般議事

- ① 「太平洋小型さけ・ます流し網漁業問題に関する意見案」及び「森林・林業・木材産業の活性化に関する意見案」の発議並びに中央折衝の実施を決定。
- ② 水産部長及び林務部長から、平成5年度水産・林務関係国費予算に係る重点要望について説明の後、中央折衝の実施を決定。
- ③ 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

文教委員会

○11月2日（月） 開議 午後2時18分
散会 午後2時29分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

一般議事

- 教育長、企画管理部長及び生涯学習部長から、公立高等学校適正配置計画及び公立特殊教育諸学校配置計画について説明。

○11月10日（火） 開議 午後1時47分
散会 午後1時49分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

一般議事

- 義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する中央折衝の実施を決定。

○11月30日（月） 開議 午前10時49分
散会 午前10時53分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

一般議事

- 教育長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月14日（月） 開議 午後5時30分
散会 午後5時34分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

付託案件の審査

議案第8号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第26号

北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

一般議事

- ① 平成5年度国費予算に関する中央折衝の実施を決定。

- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○11月11日（水） 開議 午前10時10分

散会 午後零時12分

第1委員会室

委員長 久田 恭弘（自民）

① 企画振興部長から、オホーツク科学文化交流拠点構想の承認申請について報告。

② 企画振興部長から、地方拠点地域の選定について報告。

大橋 晃委員（共産）及び 中崎 昭一委員（自民）から質疑

③ 企画振興部長から、千歳川放水路連絡協議会の設置について報告。

永井 利幸委員（自民）及び 大橋 晃委員（共産）から質疑

④ 地域開発事情に関する道内外調査の実施概要の報告を了承。

○11月30日（月） 開議 午後2時46分

散会 午後3時44分

第1委員会室

委員長 久田 恭弘（自民）

請願・陳情の審査

請願第56号

千歳川放求路計画の抜本的見直しを求める件
(不採択)

大橋 晃委員（共産）から質疑及び賛成討論。

その他の議事

① 参事監から、第4回定例会提出予定案件について説明。

② 企画振興部長から、北海道新長期総合計画第5次推進計画について報告。

③ 企画振興部長から、平成5年度北海道開発関係予算について説明。

石炭対策特別委員会

- 11月11日（水） 開議 午前10時25分
散会 午前10時55分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅（社会）
① 芦別閉山地域事情調査の実施概要の報告を了承。
② 「芦別市振興対策に関する意見書」による中央折衝の実施を報告。
③ 産炭地域に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
④ 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施概要の報告を了承。
⑤ 石川十四夫委員（道政）から質疑
　産炭地域が抱える当面の課題について（関連して、工藤万砂美委員（自民）から要望。）

- 11月30日（月） 開議 午前11時54分
散会 午前11時56分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅（社会）
① 産炭地域振興対策に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
② 平成4年度政府予算等に関する産炭地域六団体連絡協議会の代表者大会及び中央折衝の実施について報告。

北方領土対策特別委員会

- 11月30日（月） 開議 午前11時57分
散会 午後零時5分
第3委員会室
委員長 水岡 薫（自民）
① 他府県の国際交流の実態把握に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
② 領対本部長から北方領土相互理解促進対話・交流使節団の訪ロについて報告。

○12月14日（月） 開議 午後6時14分
散会 午後6時17分
第3委員会室
委員長 水岡 薫（自民）

- 領対本部長から「北方領土返還要求のつい」について説明。

エネルギー問題調査特別委員会

- 11月30日（月） 開議 午後零時11分
散会 午後零時24分
第5委員会室
委員長 中川 義雄（自民）
○ 商工労働観光部長から、原子炉自動停止事象の再発防止対策について報告。
渋谷澄夫委員（社会）から質疑

交通安全対策特別委員会

- 11月11日（水） 開議 午前10時5分
散会 午前10時30分
第2委員会室
委員長 大島 一郎（社会）
① 交通安全対策に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
② 生活福祉部長から、交通事故防止対策について報告。
③ 警察本部交通部長から、10月末における交通事故の発生状況と当面の交通事故防止対策について報告。
④ 警察本部交通部長から、道央自動車道における多重事故の検査結果等について報告。

- 12月14日（月） 開議 午後6時14分
散会 午後6時18分
第2委員会室
委員長 大島 一郎（社会）
① 交通安全対策に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
② 警察本部交通部長から、11月末における交通事故の発生状況と交通死亡事故防止対策について報告。

過疎地域振興対策特別委員会

予算特別委員会

- 11月11日（水） 開議 午前11時25分
散会 午後零時34分
第2委員会室
委員長 工藤 万砂美（自民）
① 過疎地域状況等に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
② 地域振興課長から、過疎地域活性化計画に基づく平成3年度事業実績について説明。
　酒井芳秀委員（自民）から質疑
③ 酒井芳秀委員（自民）から質疑
　(1) 国への要請項目に係る動向について
　(2) 市町村振興補助金の充実について
　(3) 市町村振興基金の充実について
　岡本 修委員（社会）から質疑
　(1) 過疎地域の活性化について
　(2) 広域的な過疎対策について
　(3) ソフト面の対策の充実について

- 12月8日（火） 開議 午後3時13分
散会 午後3時24分
第1委員会室
委員長 土田 弘（社会）

正副委員長の互選

- ① 委員長に土田 弘委員（社会）、副委員長に神戸典臣委員（自民）を選出。
② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことと決定。
③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

○第1分科会委員（15人）

木村 澄男（道政）	板谷 実（民政）
明田 辰義（自民）	鈴部 熱（自民）
乙川 節郎（公明）	段坂 繁美（社会）
吉田 栄（社会）	鰐谷 忠（社会）
小山 誠司（社会）	高橋 文明（自民）
野呂 善市（自民）	小野寺 勇（自民）
吉野 之雄（社会）	橋 浪藏（自民）
平野 明彦（自民）	

○第2分科会委員（15人）

加藤 和久（自民）	山崎 正隆（自民）
神戸 典臣（自民）	平出 陽子（社会）
井野 厚（社会）	永井 利幸（自民）
和田 敬友（自民）	勝木 省三（自民）
吉川 貴盛（自民）	工藤万砂美（自民）
浅野 俊一（公明）	西本 美嗣（社会）

大内 良一（社会） 岡本栄太郎（社会）
岩崎 守男（社会）

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることを決定。
- ⑦ 委員外議員の発言の取扱いについては、議員からの発言の申出があった場合、その都度委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の通告質疑、質問が終了後に発言を許可することを決定。
- ⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑨ 本委員会の運営に当たり、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことを決定。

第 1 分 科 会

○12月8日（火） 開議 午後3時26分
散会 午後3時36分
第1委員会室
第1分科委員長
鰐谷 忠（社会）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に鰐谷 忠委員（社会）、分科副委員長に高橋文明委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政、各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、野呂善

市委員（自民）、小山誠司委員（社会）、乙川節郎委員（公明）、板谷 実委員（民政）を選出。

- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとするなどを決定。

○12月9日（水） 開議 午前10時34分
閉会 午後5時19分
第1委員会室
第1分科委員長
鰐谷 忠（社会）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、久田 恒弘委員（自民）から、

冬道の安全運転教育の充実強化について

- ・冬道安全運転講習の委託校と受講予定者数
- ・委託講習の予算と呼び戻し講習の開催予定
- ・講習の取組姿勢

等について

大橋 覧議員（共産）から、

- 1 視覚障害者用交通信号機の設置促進について

- ・設置の基本的姿勢
- ・道内主要都市の設置状況
- ・設置状況の認識と今後の導入計画
- ・障害者からの要請に対する設置促進の考え方

- 2 交通事故死と信号機新・増設について

- ・事故死者のうち交差点事故での発生割合
- ・交差点での信号機の事故防止効果
- ・交通激増地区の信号機設置の考え方
- ・人口急増地区の信号機増設の必要性
- ・予算枠確保の取組方

等について、質疑、意見及び要望があり、交通部長、交通企画課長及び交通規制課長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 企画振興部所管に対する質疑に入り、

中川 義雄委員（自民）から、

道北地域振興計画策定調査について

- ・企画振興部の所管事項
- ・科学技術庁の所管事項
- ・科学技術庁の航空宇宙基地と海洋開発の所管課
- ・宇宙開発及び海洋開発各課長名と面会の有無
- ・海洋開発構想での道北地域の位置づけ

- ・海洋開発で科学技術庁との協議の有無
 - ・開発庁と科学技術庁が海洋開発で協議した内容
 - ・海洋開発を科学技術庁で所管している背景
 - ・平成4年度版の科学技術庁白書のテーマ
 - ・道北地域振興計画策定調査説明会に欠席した経緯
 - ・道北地域振興計画策定調査が貯蔵工学センターに関する計画の根拠
 - ・道北地域振興計画策定調査の主体
 - ・科学技術庁からの文書の内容
 - ・科学技術庁バックエンド室が窓口となって推進する真意
 - ・説明会を断る理由
 - ・科学技術庁の公式文書の見解
 - ・説明会に参加している市町村の把握
 - ・海洋科学技術センターの性格
 - ・海洋科学技術センターの主務官庁
 - ・海洋科学技術センターの事業展開
 - ・説明会の対応に関し知事と相談の有無
 - ・海洋科学技術センターとの海洋開発に関わる事業内容
 - ・日本海海域の海洋豊度化技術の研究プロジェクトの事業期間と事業費
 - ・創造科学技術推進制度の概要
 - ・植物情報システムの研究の概要
 - ・航空宇宙基地構想の考え方
 - ・今までの宇宙開発及び海洋開発に投資した道の費用
- 等について

萩原 信宏議員（共産）から、

- 1 エアカーゴ基地構想について
 - ・補正予算の内訳と増額した理由
 - ・日本ユニバーサル航空の運休の認識と貨物需給の低迷の認識
 - ・テストフライトを実施する必要性の考え方
- 2 ゴルフ場開発について
 - ・暫定措置前の案件で本申請に至っていないゴルフ場の状況
 - ・暫定措置の案件で本申請に至っていないゴルフ場の状況
 - ・要綱に基づく事前協議を終了し本申請に至っていないゴルフ場の状況
 - ・許可後二度の延期願いが出ているゴルフ場の

指導の考え方

- ・要綱以前に申請され工事が着工されていない事業者への指導の考え方
- ・水道水源上流のゴルフ場のガイドラインの作成の考え方
- ・水道管理者の同意を不可欠な要件とする見解等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、参事監、次長、プロジェクト調整推進室参事及び土地水対策課長から答弁があって、企画振興部及び選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

③ 生活福祉部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏議員（共産）から、

- 1 保育所問題について
 - ・道内の無許可保育所の設置状況、市町村の助成状況及び他府県の実情
 - ・無許可保育所に対する運営費助成の検討
- 2 特別養護老人ホームについて
 - ・特別養護老人ホームへの待機者と今後の整備等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、社会老人課長及び児童家庭課長から答弁があって、生活福祉部所管に対する質疑を終結。

④ 保健環境部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

- 1 道民の健康づくり対策について
 - ・健康づくり指針と内容
 - ・市町村栄養士の配置状況と確保等
 - ・健康運動指導者の養成の経過と今後の方向
 - ・健康教育の実施状況
 - ・八〇二〇運動
 - 2 脱スパイクタイヤ問題について
 - ・追加指定のスケジュール
 - ・脱スパイクタイヤ対策の実施
 - ・道路診断の実施等
 - ・冬道安全運転技能講習の啓発
- 等について

乙川 節郎委員（公明）から、

- 1 資源リサイクルの推進について
 - ・普及啓発の取組み
 - ・低年齢層に対する教育
 - ・推進体制の整備
 - ・再資源化ルートの方策
 - ・廃タイヤのリサイクルの推進
 - ・再生品の利用を進めるための取組み
- 2 救急医療体制について
 - ・救命救急センターの整備

- ・高度救命救急センターの整備
 - ・救急救命士試験合格者の状況
 - ・救急救命士の採用
 - ・救急蘇生法の普及啓発
- 等について

大橋 晃議員（共産）から、
北海道地域保健医療計画の見直し案について

- ・二次医療圏ごとの病床規制
 - ・入院自給率の改善
 - ・一般病床の必要病床数と考え方
 - ・サブ医療圏に対する考え方
 - ・センター病院に対する考え方
 - ・診療科別の必要病床数
 - ・医療法の改正との関係
 - ・結核病床の必要病床数
 - ・結核医療の確保
 - ・本道の特性を踏まえた地域医療の確保
- 等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、地域医療課長、地域医療課参事及び衛生施設課参事から答弁があつて、保健環境部、企業局、人事委員会、出納局及び監査委員所管に対する質疑を終結。

⑤ 総務部所管に対する質疑に入り、

大橋 晃議員（共産）から、

1 消防行政について

- ・札幌市の救急救命士養成所との関わり
- ・救急Ⅱ課程の教育状況
- ・今後の救急Ⅱ課程の教育計画

2 人事行政について

- ・骨髓バンクのドナー登録等取扱いの検討状況
- ・職務専念義務免除の制度化の時期

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、防災消防課長及び人事課長から答弁があつて、総務部所管に対する質疑を終結。

⑥ 付託案件に対する分科委員長報告について
は分科委員長に一任することを決定。

第 2 分 科 会

○12月8日（火） 開議 午後3時26分
散会 午後3時34分
第2委員会室
第2分科委員長
和田 敬友（自民）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に和田敬友委員（自民）、分科副委員長に井野 厚委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、各1名計3名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、永井利幸委員（自民）、西本美嗣委員（社会）、浅野俊一委員（公明）を選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○12月9日（水） 開議 午前11時30分

閉会 午後5時24分

第2委員会室

第2分科委員長

和田 敬友（自民）

① 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、

大店法の規制と小樽市内のスーパーの店舗面積超過について

- ・これまでの道議会での論議
- ・店舗面積是正に対する道の指導
- ・商店会との協定見直しに係る道及び小樽市のあっせん案の内容
- ・今後の本問題に対する取組み

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長及び商業貿易振興室長から答弁があつて、商工労働観光部、土木部、収用委員会、住宅都市部、農政部、林務部、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、地方労働委員会及び教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告について
は分科委員長に一任することを決定。

○12月10日（木） 開議 午前10時47分

散会 午前11時44分

第1委員会室

委員長 土田 弘（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における

る審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

中川 義雄委員（自民）から、

道北地域振興計画策定調査について

- ・科学技術庁が12月9日稚内市において開催した説明会に道が欠席した理由

等について質疑があり、知事から答弁。同議員から議事録精査の要求があり、議事進行の都合により、散会。

○12月11日（金） 開議 午後5時40分

散会 午後11時50分

第1委員会室

委員長 土田 弘（社会）

○ 知事に対する総括質疑の続行、

知事から、昨日の中川義雄委員（自民）の質問に対する答弁の後、引き続き、

中川 義雄委員（自民）から、

道北地域振興計画策定調査について

- ・科学技術庁が12月9日稚内市において開催した説明会に道が欠席した理由

等について質疑があり、知事から答弁。同議員から、説明会に関する科学技術庁の資料提出要求があり、議事進行の都合により、午後6時56分休憩、午後11時49分再開し、散会。

○12月12日（土） 開議 午前6時37分

散会 午前6時38分

第1委員会室

委員長 土田 弘（社会）

○ 議事の都合により、本日の議事はこの程度にとどめ、散会。

○12月14日（月） 開議 午後4時23分

閉会 午後5時

第1委員会室

委員長 土田 弘（社会）

① 知事に対する総括質疑の続行、

知事から、12月11日の 中川 義雄委員（自民）の質問に対する答弁の後、引き続き、

中川 義雄委員（自民）から、

道北地域振興計画策定調査について

- ・北海道と科学技術庁との信頼関係修復
- ・知事が科学技術庁へ出向いた回数
- ・道北地域の振興策

等について、質疑、意見及び要望があり、知事から答弁

があつて、総括質疑を終結。

② 付託案件に対する意見の調整は、各派代表者会議において行うことを決定。

③ 各派代表者会議における意見調整の結果、意見の一一致をみた旨報告の後、議案第1号ないし第6号及び第14号ないし第22号を議題とし、原案のとおり可決することを決定。

④ 和田敬友委員（自民）から、別紙の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を諮って異議なく可決することを決定。

⑤ 委員長から、付託案件の審査終了に当たりあいさつがあつて閉会。

会合

10都道府県議会議長会（第169回）

○11月12日（木） 大阪市において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告（京都府）
2. 議案審議
3. 次回開催地を広島県に決定。
4. その他
（全議事務総長から、平成4年度一般会計補正予算（第1号）等について説明）
(議案)
 - 1 環境基本法（仮称）の早期制定について
（北海道提出）
 - 2 古紙のリサイクル促進について
（東京都提出）
 - 3 抜本的かつ早急なエイズ対策について
（神奈川県提出）
 - 4 介護休業制度の普及促進について
（静岡県提出）
 - 5 農業農村整備事業の促進について
（京都府提出）
 - 6 骨髓移植に対する支援の強化について
（兵庫県提出）
 - 7 第四次土地改良長期計画の策定と事業費の大幅確保について
（広島県提出）
 - 8 介護休業制度の早期確立と法制化について
（福岡県提出）
 - 9 地方財政対策の充実強化について
（大阪府提出）

資料

平成4年提出案件の議決状況

知事提出案件

定例の別 臨時	提出件数				議決状況								
	条例案	予算	その他 の議案	報告	原案可決	同議決	承認決	認議	定決	意見を付し 認定議決	報告のみ	継続審査	計
1 定	66	26	6	2 (1)	100 (1)	98	—	—	—	—	2	(1)	100 (1)
2 定	6	1	12	41 (1)	60 (1)	16	3	10	—	(1)	26	5	60 (1)
3 定	4	5	29	1 (5)	39 (5)	36	2	—	(2)	(3)	1	—	39 (5)
4 定	11	11	7	5	34	27	2	—	—	—	4	1	34
合 計	87	43	54	49 (7)	233 (7)	177	7	10	(2)	(4)	33	6 (1)	233 (7)

注()内は、継続審査に係る議決件数を示し、外数である。

議員提出案件

定例の別 臨時	提出件数			議決状況		
	決議案	意見案	計	原案可決	否決	計
1 定	2	8	10	8	2	10
2 定	—	5	5	3	2	5
3 定	1	12	13	12	1	13
4 定	4	6	10	9	1	10
合 計	7	31	38	32	6	38

平成4年請願、陳情の審査状況

定例の別 臨時	請願							陳情			
	受理件数	採択	一部採択	不採択	議決不要	継続審査	計	受理件数	議決不要	継続審査	計
1 定	8	—	—	—	3	44	47	4	2	12	14
2 定	8	—	1	—	6	※ 46	52	—	5	7	12
3 定	3	1	—	—	—	48	49	—	—	7	7
4 定	8	—	—	1	—	55	56	—	—	7	7
合 計	27	1	1	1	9	/	/	4	7	/	/

注 ※は一部採択を含み、件数上重複している1件がある。

継続審査の件数は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定のあったものを含む。

議決不要の件数のうち閉会中処理したものは直近の定例会に含めた。

平成4年議員提出案件の件名及び議決結果一覧

決議案

定例の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
1 定	4. 3. 5	1	阿部文男衆議院議員の辞職勧告及び道議会の権威保持に関する決議	桜田正明議員ほか5人	4. 3. 6	原案可決
	4. 3. 24	2	道営住宅家賃値上げの撤回を求める決議	大橋 晃議員ほか1人	4. 3. 25	否 決
3 定	4. 10. 14	1	金丸、竹下両氏等の証人喚問の実現及び金権腐敗政治の根絶を求める決議	大橋 晃議員ほか1人	4. 10. 14	否 決
4 定	4. 12. 14	2	竹下登衆議院議員の辞職を求める決議	高橋 庸議員ほか3人	4. 12. 14	原案可決
		3	竹下登衆議院議員の出処進退と政治の信頼回復を求める決議	神戸典臣議員ほか1人	4. 12. 14	否 決
		4	参議院議員定数是正案に反対する決議	神戸典臣議員ほか4人	4. 12. 14	原案可決
		5	私学助成・学級編制など行き届いた教育を求める決議	神戸典臣議員ほか5人	4. 12. 14	原案可決

※第4回定例会においての決議案第1号は議題となる前に撤回された。

意見案

定例の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
1 定	4. 3. 5	1	農畜産物の完全自由化につながる「包括的な関税化」の拒否に関する意見書	桜田正明議員ほか5人	4. 3. 6	原案可決
		2	酪農・畜産振興施策に関する意見書	大野新生議員ほか13人	4. 3. 6	原案可決
		3	北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見書	吉野之雄議員ほか23人	4. 3. 6	原案可決
	4. 3. 25	4	企業との癒着など政治腐敗の根絶を求める意見書	大橋 晃議員ほか1人	4. 3. 25	否 決
		5	清潔な政治の確立を求める意見書	桜田正明議員ほか4人	4. 3. 25	原案可決
		6	保健・医療・福祉マンパワーの確保を求める意見書	工藤啓二議員ほか26人	4. 3. 25	原案可決
		7	パートタイム労働者の労働条件改善に関する意見書	伊達忠一議員ほか12人	4. 3. 25	原案可決
		8	外国産馬の出走制限緩和に関する意見書	大野新生議員ほか13人	4. 3. 25	原案可決
2 定	4. 6. 16	1	稲作経営の安定に関する意見書	大野新生議員ほか13人	4. 6. 16	原案可決
		2	再生産を保障する生産者米価実現に関する意見書	大橋 晃議員ほか1人	4. 6. 16	否 決
	4. 7. 2	3	国連平和維持活動への自衛官派遣に反対する意見書	大橋 晃議員ほか1人	4. 7. 3	否 決
	4. 7. 3	4	精神障害者の社会復帰・福祉施策の充実に関する意見書	輪島幸雄議員ほか12人	4. 7. 3	原案可決
		5	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書	谷川英雅議員ほか14人	4. 7. 3	原案可決
3 定	4. 9. 22	1	畑作経営の安定に関する意見書	大野新生議員ほか12人	4. 9. 22	原案可決
		2	水田農業確立対策の次期対策に関する意見書	大野新生議員ほか12人	4. 9. 22	原案可決
		3	芦別市振興対策に関する意見書	谷川英雅議員ほか13人	4. 9. 22	原案可決

定例の別 臨時	提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
3 定	4.10.14	4	地方交付税率の堅持及び総額の確保に関する意見書	平井 進議員ほか13人	4.10.14	原案可決
		5	国民の祝日「海の日」の制定に関する意見書	平井 進議員ほか13人	4.10.14	原案可決
		6	アイヌ民族に関する法律の早期制定を求める意見書	工藤啓二議員ほか13人	4.10.14	原案可決
		7	環境基本法（仮称）の早期制定を求める意見書	輪島幸雄議員ほか11人	4.10.14	原案可決
		8	精神病院における医療及び保護の充実に関する意見書	輪島幸雄議員ほか11人	4.10.14	原案可決
		9	第11次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する意見書	勝木省三議員ほか13人	4.10.14	原案可決
		10	第3次急傾斜地崩壊対策事業五箇年計画における総投資規模の確保に関する意見書	勝木省三議員ほか13人	4.10.14	原案可決
		11	義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する意見書	酒井芳秀議員ほか12人	4.10.14	原案可決
		12	佐川急便事件徹底究明と政治改革の早期実現を求める意見書	神戸典臣議員ほか4人	4.10.14	原案可決
4 定	4.12. 3	1	景気対策予算の早期成立に関する意見書	神戸典臣議員ほか4人	4.12. 3	原案可決
		2	農畜産物の完全自由化につながる「包括的関税化」拒否に関する意見書	大野新生議員ほか13人	4.12.14	原案可決
		3	第4次土地改良長期計画に関する意見書	大野新生議員ほか13人	4.12.14	原案可決
		4	第11次道路整備五箇年計画における総投資規模の確保等に関する意見書	勝木省三議員ほか13人	4.12.14	原案可決
		5	太平洋小型さけ・ます流し網漁業問題に関する意見書	吉野之雄議員ほか12人	4.12.14	原案可決
		6	森林・林業・木材産業の活性化に関する意見書	吉野之雄議員ほか12人	4.12.14	原案可決

平成4年請願、陳情の件名及び審査経過一覧

請 願

(総審=継続審査、議不=議決不要)

文書表番号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の結果
1	ホッカイドウ競馬専用場外発売所を薄野に開設することに反対する件	札幌市豊水地区連合会 会長 福本武治外13人	3. 5.27	3. 6.28	農政	1定総審 2定議不
2	道営競馬札幌場外馬券発売所をスキノ周辺地区に開設することに反対する件	札幌市薄野地区暴力追放 運動推進協議会 クリーン薄野推進協議会 会長 斎藤鶴雄外6人	3. 5.27	3. 6.28	同	同
3	私学助成の抜本的拡充と小中高35人以下学級の早期実現を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 小野内 勝義	3. 6. 3	3. 6.28	文教	1定総審 2定総審 3定総審 4定総審
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関する件	長沼の自然を愛する artist&craftsmanの会 代表 山田和幸外5人	3. 6.21	3. 6.28	総務	同
5	北海道看護職員養成修学資金の貸付枠拡大を求める件	勤医協札幌看護専門学校 学生自治会 執行委員長 渋谷綾絵	3. 6.28	3. 7. 4	保健環境	同
6	北海道立寿都病院の町移管に反対する件	寿都郡寿都町 耳塚 源治	3. 6.28	3. 7. 4	同	同

文書表番号	件 名	請願者	受理年月日	付託年月日	付託委員会	審査の経過
7	「北海道分県」の実現を求める件	北海道分県推進連絡会議 北海道分県推進協議会 会長 片山 瞳三外2人	3. 6.28	3. 7. 4	総務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
8	子供たちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現を求める件	新日本婦人の会北海道本部 会長 渡辺 昌子	3. 7. 5	3. 7. 8	文教	同
9	小選挙区制導入に反対する決議を求める件	小選挙区制阻止北海道連絡会 代表 斎藤 敏夫	3. 7. 8	3. 7.12	総務	同
10	白内障治療の眼内レンズ補助に関する件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 石井 清治	3. 7. 8	3. 7.12	生活福祉	1定継審 2定議不
11	在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 石井 清治	3. 7. 8	3. 7.12	同	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
13	国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件	全国福祉保育労働組合北海道地方本部 執行委員長 池内 喬	3. 7.11	3. 7.16	同	同
16	小選挙区制の導入に反対する意見書の採択を求める件	北海道高等学校教職員組合中央執行委員長 相場 実外3人	3. 7.19	3. 7.22	総務	同
17	馬追丘陵におけるゴルフ場造成計画に関する件	サツラク農業共同組合 組合長理事 黒澤信次郎	3. 7.26	3. 9.25	同	同
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤 重行	3. 8.30	3. 9.25	保健環境	1定継審 2定一部採択 (但し第1項を除く) 2定継審 3定継審 4定継審 (但し第2項及第3項を除く)
19	李恩恵拉致事件の真相究明及び原状回復を求める意見書提出に関する件	札幌市北区 工藤正太郎外30人	3. 9.24	3.10. 1	総務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
20	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 兼古 哲郎	3. 9.25	3.10. 1	文教	1定議不
21	苫小牧東高校・苫小牧南高校・苫小牧工業高校・白老東高校からの各一学級削減に反対する件	苫小牧公立高校新設をする会 代表 佐藤 弘毅	3.10. 4	3.10. 9	同	同
22	18歳到達による児童扶養手当支給喪失者に対する支給延長制度に関する件	札幌市厚別区 佐藤 玲子	3.10. 8	3.10.11	生活福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
23	6歳未満児の歯科治療費に対する助成を求める件	「子どもの歯を守る」札幌実行委員会 代表 菅原 和人	3.10. 9	3.10.18	保健環境	同
24	岩見沢の高校間口削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	岩見沢の高校間口削減に反対する父母連絡会 代表 石田ルミ江	3.10. 9	3.10.18	文教	同
25	ゆたかな高校教育を保障するため、学級削減に反対し、40人以下学級の実現を求める件	ゆたかな高校教育をめざす西胆振の会 代表 城下 熱	3.10.14	3.10.18	同	同
26	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	全北海道教職員組合 代表 小林 勝行	3.10.15	3.10.18	同	同
27	足寄高校の4学級維持と、35人以下学級の早期実現を求める件	北海道高等学校教職員組合連合会足寄高校分会 書記長 小川 裕司	3.10.15	3.10.18	同	同

文書表番号	件 名	請願者	受理年月日	付託年月日	付託委員会	審査の経過
28	滝川西高等学校の間口維持及び高校の40人以下学級の実現を求める件	北海道高等学校教職員組合北空知支部滝川西高校分会 分会長 平加 熊	3.10.15	3.10.18	文教	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
29	江差高校、熊石高校、上ノ国高校の間口削減に反対する件	ゆきとどいた教育をすすめる熊石連絡会 北海道高等学校教職員組合熊石高校分会 分会長 北崎 和夫	3.10.15	3.10.18	同	同
30	函館中部・工業・商業・東・上磯・七飯高校の間口削減、函館西高校定時制募集停止に反対する件	ゆきとどいた教育をすすめる函館・道南の会 代表 高田 敏充	3.10.15	3.10.18	同	同
31	滝川高等学校学級数の現状の維持を求める件	北海道滝川高等学校教職員一同 代表 堀 良一	3.10.15	3.10.18	同	1定議不
32	網走第四学区の高校間口の存続と40人以下学級の早期実現を求める件	北海道高等学校教職員組合紋別支部 支部長 萩原 政明外1人	3.10.15	3.10.18	同	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
33	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 相場 実	3.10.15	3.10.18	同	同
34	函館東高校の間口削減に反対する件	北海道高等学校教職員組合函館支部函館東高校分会 分会長 松原 寿一	3.10.15	3.10.18	同	同
35	八雲高等学校（普通科）の間口削減に反対する件	北海道高等学校教職員組合八雲高校分会 分会長 安藤 亨二	3.10.15	3.10.18	文教	同
36	高等学校40人学級の早期実施を求める件	北海道高等学校P.T.A.連合会 会長 木本 伸孝	3.10.16	3.10.19	同	同
37	ゆたかな私学教育の実現を求める件	連合北海道 会長 兼吉 哲郎外4人	3.12.10	3.12.13	同	同
38	旭川工業高等学校に設備工業科の設置を求める件	旭川工業高校設備工業科 設置促進期成会 会長 野村 権作	3.12.10	3.12.16	同	同
39	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	札幌市南区 田中 一	3.12.13	3.12.18	同	同
40	道内公立高校40人学級の主要都市への実施を求める件	日本婦人会議北海道本部 議長 藤枝ひで子	3.12.16	3.12.18	同	同
41	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	北海道保育団体連絡会 会長 堀岡 英機	3.12.18	3.12.21	生活福祉	同
42	同	同	3.12.18	3.12.21	保健環境	同
43	道営住宅の家賃値上げ中止を求める件	北海道公営住宅協議会 会長 竹内栄次郎	4. 2.24	4. 3. 2	建設	1定継審 2定議不
44	在職老齢厚生年金の支給率の改善を求める件	網走年金組合 執行委員長 小田 富雄	4. 2.24	4. 3. 2	生活福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
45	福島町立浦和小学校への早期水道設置の指導を求める件	福島町浦和 土門 忠紀外1人	4. 2.27	4. 3. 6	文教	同
46	道営住宅家賃の値上げ撤回を求める件	北海道生活と健康を守る 会連合会 会長 石井 清治	4. 3. 5	4. 3. 9	建設	1定継審 2定議不
47	92年度道予算における公共料金引上げ反対に関する件	北海道92国民春闘共闘委員会 代表 山口 康夫	4. 3. 5	4. 3. 9	同	同

文書番号	件名	請願者	受理年月日	付託年月日	付託委員会	審査の経過
48	92年度予算における公共料金引上げ反対に関する件	北海道92国民春闘共闘委員会 代表 山口 康夫	4. 3. 5	4. 3. 9	文教	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
49	平取養護学校に高等部の併設を求める件	平取障害児の高等部増設を進める会「春風」 代表 高島 博子	4. 3.10	4. 3.12	同	同
50	従軍慰安婦問題等日本の戦後責任をはたすために資料公開・謝罪・補償を求める件	朝鮮女性と連帯する北海道の会 会長 荒野 洋子(外5件)	4. 3. 3	4. 3.18	総務 付託替 生活福祉	同
51	高等養護学校設置を求める件	道立釧路高等養護学校設置促進期成会 会長 鶴淵 俊之	4. 6.15	4. 6.22	文教	2定継審 3定継審 4定継審
52	第6次(高校第5次)教職員定数法の早期制定を求める件	北海道教職員組合 中央執行委員長 若月 雅裕	4. 6.16	4. 6.22	同	同
53	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持を求める件	同	4. 6.16	4. 6.22	同	同
54	労働時間短縮、全労働者の完全週休2日制など労働基準法等の抜本的改正を求める意見書採択に関する件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	4. 6.16	4. 6.22	商工労働観光	同
55	道職員の完全週休2日制実施を求める件	同	4. 6.16	4. 6.22	総務	同
56	千歳川放水路計画の抜本的見直しを求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫外1人	4. 6.16	4. 6.22	総合開発 調査特別	2定継審 3定継審 4定不採択
57	道職員の完全週休2日制実施を求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	4. 6.16	4. 6.22	文教	2定継審 3定継審 4定継審
58	道立高等養護学校設置を求める件	根室管内道立高等養護学校設置促進期成会 会長 中標津町長 進藤 松吉	4. 6.24	4. 6.26	同	同
59	精神病院における医療及び保護の充実を求める件	北海道精神病院協会 会長 石金 昌晴	4. 9. 1	4. 9.22	保健環境	3定採択
60	自衛隊のカンボジア派兵反対に関する件	自衛隊の海外派兵を阻止する北海道連絡会 代表 山口 康夫	4. 9.22	4. 9.28	総務	3定継審 4定継審
61	公立高校の入学定員削減反対を求める件	苫小牧市美園町3-14-22 代表 佐藤 弘毅	4.10. 8	4.10.13	文教	同
62	労働省の職業安定局機関、労働基準局、婦人少年室、労働基準監督署、公共職業安定所等労働行政機関の大幅増員要請についての意見書採択に関する件	全労働省労働組合北海道支部 執行委員長 小路加寸男	4.10.22	4.12. 1	商工労働観光	4定継審
63	保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 森谷 尚行(外1件)	4.12. 3	4.12. 7	生活福祉	同
64	町立病院・国保病院の老人病院化に反対し制度改善に関する議会決議を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 森谷 尚行	4.12. 3	4.12. 7	保健環境	同
65	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 会長 田中 一(外1件)	4.12. 4	4.12. 8	文教	同
66	保育所「最低基準」の職員配置の改善を求める意見書提出に関する件	北海道保育団体連絡会 会長 堀岡 英機	4.12. 7	4.12.10	生活福祉	同

文書表番号	件 名	請 頼 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の経過
67	道内中小業者の経営と生活危機打開に関する件	北海道商工団体連合会 会長 星 三男	4.12. 8	4.12.10	商工労働 観光	4定継審
68	道内中小業者の経営安定緊急対策のため政府に対する意見書の採択に関する件	同	4.12. 8	4.12.10	同	同
69	ゆたかな私学教育実現のために私学助成の拡充を求める件	連合北海道 会長 兼吉 哲郎外4人	4.12. 9	4.12.14	文 教	同

陳 情

文書表番号	件 名	陳 情 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の経過
1	道営競馬場外馬券発売所の札幌都心部（ススキノ地区）への移設推進に関する件	北海道道営競馬協力会 会長 三浦 英一	3. 6. 5	3. 6.28	農 政	1定継審 2定議不
2	薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件	札幌市中央区 遠藤 象三外40人	3. 6. 6	3. 6.28	同	同
3	産業廃棄物の不適正処理への指導強化を求める件	広島町・西の里の環境を 守る会 代表 扇子 幸一	3. 6.21	3. 6.28	保健環境	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
4	北海道の気象事業整備・拡充を求める件	全気象労働組合北海道地 方本部 執行委員長 竹野 孝敏	3. 7.15	3. 7.22	総 務	同
5	義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度堅持に関する件	北海道学校事務労働組合 委員長 直島 峯夫	3. 7.23	3. 9.25	文 教	1定議不
6	千歳市のゴルフ場新設計画に関する件	千歳の自然保護協会 会長 西島 浩	3. 7.30	3. 9.25	総 務	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
7	千歳市におけるゴルフ場造成等による森林の大規模開発を全面凍結し、国の天然記念物クマゲラの生息地を守る野鳥生息地調査の実施を求める件	日本野鳥の会会員 濱邊 修平	3. 8. 5	3. 9.25	文 教	同
8	道営競馬札幌場外馬券発売所の西創成地区（南6条西5丁目）への移設推進に関する件	社団法人西創成親和会 理事長 松本 武	3. 9. 2	3. 9.25	農 政	1定継審 2定議不
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	北海道精神障害者社会復 帰施設協議会（準備会） 代表 岸本 芳朗外1人	3.10. 1	3.10. 7	保健環境	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
10	小樽工業高校の学級削減案の白紙撤回を求める件	北海道小樽工業高等学校 PTA 会長 氏家 靖洲外1人	3.10. 8	3.10.11	文 教	1定議不
11	エゾシカ食肉化等に関する件	動物の会FWFA 代表 平井百合子	4. 3. 6	4. 3.16	農 政	1定継審 2定議不
12	公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件	函館地方漁網団体連絡協 議会 会長 佐々木昌平	4. 2.28	4. 3.18	商工労働 観光	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
13	同	同	4. 2.28	4. 3.18	水産林務	同
14	エゾシカの食肉化と被害防止対策に関する件	北海道自然保護連合 代表 稲田 孝治	4. 3.21	4. 3.25	農 政	1定継審 2定議不

11月のメモ

- 3日 ○江田氏らが新政策集団 社民連の江田五月代表を中心とする新政策集団「シリウス」が旗揚げ総会を開いた。社会党・社民連、連合参議院の27人が参加した。
- 4日 ○米大統領にクリントン氏 共和党現職ブッシュ大統領、民主党クリントン氏、無党派ペロー氏の3候補が争った大統領選は「変化」を訴えたクリントン氏(46)が圧勝12年ぶりに民主党政権が誕生する。「団塊」世代の同氏は勝利宣言の中で、米国の再生と国民の統合を強調。
- 9日 ○サケの特異タンパクを発見 サケが生まれた川のにおいを感知するための特異なタンパク質が嗅（きゅう）上皮などの3カ所にあることを、北大水産学部付属洞爺湖臨湖実験所の研究グループが発見した。
- 10日 ○道水産部長サケ・マス問題で陳謝 太平洋公海での小型サケ・マス漁船違反操業事件について、道の水産部長は道議会水産林務常任委員会で、今年の分に限り道が漁獲量の数字を「調整」し、事実上改ざんしていたことを認め陳謝した。
- 19日 ○新長計汚職裁判が結審 道の新長期総合計画・戦略プロジェクト策定をめぐり、受託収賄罪に問われた元道開発調整部参考事と贈賄罪に問われた業者3被告の公判が札幌地裁で結審した。判決来春の予定。
- 26日 ○道環境影響評価審議会がアルファリゾート・トマム拡張事業の計画見直しを迫る答申 上川管内占冠村と南富良野町で計画されている事業の環境影響評価書に対し、イトウの生息地調査が不十分などの問題点を指摘。実質的に計画の見直しを迫る異例の厳しい内容となった。
- 27日 ○コメ関税化拒否を堅持 政府は新多角的貿易交渉（ウルグアイ・ラウンド）の関係閣僚懇談会を開き、コメの関税化を拒否する基本方針を堅持することを再確認した。

12月のメモ

- 1日 ○第4回定例道議会開会
- 4日 ○19トン型サケ・マス漁船、日本200台内操業から撤退へ 北洋サケ・マス小型漁船の違反操業問題で、業界団体の太平洋小型さけ・ます漁業協会は来年度以降、日本200台内から19トン型88隻全船を撤退させる再編方針を決めた。
- 10日 ○臨時国会が閉幕 第125臨時国会は景気対策のための公共事業費約1兆9000億円を盛り込んだ本年度補正予算と「9増10減」の衆院定数是正に伴う改正公職選挙法などを成立させ、閉幕した。
- 12日 ○宮沢改造内閣が発足 宮沢首相は初の内閣改造を行った。渡辺美智雄副総理・外相を留任させたほか、蔵相に宮沢派の林義郎氏、通産相に三塚派の森喜朗氏を起用するなど、首相主導による派閥均衡、実務型の布陣となった。
- 14日 ○道議会が「竹下辞職」決議 第4回定例道議会は「竹下登衆議院議員の辞職を求める決議」を社会党・道民連合など4会派の賛成で可決した。
- ④第4回定例道議会閉会
- 町村金五氏が死去 道知事や衆参両院議員、自治相を歴任した町村金五氏は肺炎による呼吸不全のため入院先の東京都内の病院で死去した。92歳。告別式は17日準自民党葬として営まれた。
- 19日 ○韓国大統領に金泳三氏が当選 18日投票され、開票の結果、与党・民自党の金泳三候補が、民主党・金大中候補、国民党・鄭周永候補に大差をつけ初当選。金大中氏と鄭氏は、政界からの引退を表明した。
- 24日 ○田辺委員長が辞任 社会党的田辺委員長は中央執行委員会で辞任を表明し、了承された。記者会見では「党改革を若い世代にやってもらいたい」と説明、金丸前自民党副総裁との親密な関係への批判が原因ではないことを強調した。

北海道議会時報 第44巻第4号
平成5年2月22日発行

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局